

第十六條 納人ニシテ常ニ他へ出稼ヲ爲ス者ハ納付代人ヲ定メ其代人ノ連署ヲ以テ徵收ヲ爲スヘキ廳
廨ニ豫メ届出ツヘシ

納人居所ヲ轉シタルトキハ速ニ前項ノ廳廨ニ届出ツヘシ
第十七條 各廳長ハ納期日ヲ過クルモ納人ニ於テ諸收入金ヲ完納セサルモノアルトキハ速ニ第七號樣
式ノ督促狀ヲ調製シ之ヲ發スヘシ

前項收入金ノ種類性質ニ依リ滯納處分ヲ爲スコトヲ得サルモノハ督促狀ヲ發スルヲ要セス
第十八條 納人ニ於テ督促狀ノ受領ヲ拒ミタルトキ若シハ納人ノ所在知レサル爲メ督促狀ヲ送達スル
コトヲ得サルトキハ第七條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 納人ニ於テ督促狀ヲ受ケタルトキハ其督促狀ニ指定スル期日迄ニ滯納金及督促手数料ニ納
入告知書及第八號樣式手数料ノ納付書ヲ添ヘ之ヲ其指定ノ縣金庫若シハ出納吏ニ拂込ムヘシ

第二十條 各廳長ハ督促狀ニ指定シタル納期日內ニ滯納金及督促狀手数料ヲ完納セサルモノアルトキ
ハ速ニ其財産ノ差押ヲ爲スヘシ
滯納者ノ財産差押ヲ命シタル官吏々員其他ノ職員ニハ第九號樣式ノ證券ヲ携帶セシム

第二十一條 納期日後督促狀發付前滯納者又ハ第三者ニ於テ滯納金ヲ完納セントスルトキハ其旨ヲ納
入告知書ヲ發シタル廳廨へ申告シ其金額ヲ拂込ムヘシ
督促狀ニ指定シタル納期日後財産差押前滯納者又ハ第三者ニ於テ督促手数料及滯納金ヲ完納セント
スルトキハ其旨ヲ督促狀ヲ發シタル廳廨へ申告シ其金額ヲ拂込ムヘシ

差押財産公賣前ニ滯納者又ハ第三者ニ於テ滯納處分費及滯納金ヲ完納セントスルトキハ其旨ヲ差押
ヲ爲シタル廳廨へ申告シ其金額ヲ拂込ムヘシ
前三項ノ拂込ハ現金ニ納入告知書及第八號樣式ノ滯納處分費ノ納付書ヲ添ヘ告知書ニ指定シタル縣金

庫若シハ出納吏ニ拂込ムヘシ

第二十二條 縣内他都市ニ於テ此規則ニ依リ徵收スル諸收入金ノ滯納處分ヲ爲スコトヲ要スルトキハ
警察署長警察分署長ハ直ニ其處分ヲ爲スヘキ地ノ警察署長若シハ警察分署長ニ其他ノ各廳長ハ郡市
長ニ之ヲ囑托スヘシ

第二十三條 他ノ廳府縣ノ囑托ニ關スル使用料手数料其他ノ諸收入金ノ滯納處分ハ其處分ヲ爲スヘキ
地ノ郡市長ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第二十四條 此規則ニ依リ徵收スル諸收入金ノ滯納處分ニ關シテハ第十七號乃至第二十三條ニ規定ス
ル外縣稅ノ滯納處分ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十五條 納人ニ於テ特別ノ規定ニ依リ納付金ノ還付若クハ過誤納金ノ拂戻ヲ受ケントスルトキハ
年度金額納付ノ年月日及其事由ヲ詳記シタル請求書ヲ其徵收ヲ爲シタル廳廨長ニ差出スヘシ

第二十六條 滯納處分費ノ辨納金ハ各其經費所屬ノ經濟ニ編入スヘシ
第二十七條 此規則ニ於テ各廳ト稱スルモノ左ノ如シ

- 一 郡市役所
- 二 警察署及警察分署
- 三 縣立學校及病院
- 四 賑徵院
- 五 農事試驗場
- 六 農事講習所

附 則

第二十八條 此規則ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

第一號様式甲

用紙適宜縦四寸五分
横三寸三分ノモノ三枚接續ニシテ其右方ニ各八分以上ノ
綴代ヲ存セシムヘシ

納 入 告 知 書

第 何 號	明 治 何 年 度	郡 市 町 氏	名 納
經 常 (臨時) 郡 市 連 帶 款	項 目	何 月 分 又 ハ 何 々	廳 麻 名

一金何程

明治何年何月何日收入済

右明治何年何月何日限リ愛知縣何金庫へ拂込ムヘシ

明治何年何月何日

知事又ハ麻長氏

名 印

縣 金 庫 印

領 收 證 書

第 何 號	明 治 何 年 度	郡 市 町 氏	名 納
款 項	目	廳 麻	名

一金何程

金 取 入 印 振 庫

明治何年何月何日領収

愛知縣何々金庫 印

通 知 書

縣金庫
割印

第 何 號	明治何年度	郡 市 町 氏	名 納
經常(臨時)郡市連帶 款	項 目	何月分又ハ何々	應 麻 名

一金何程

人取金
印拔庫

右明治何年何月何日領収

愛知縣何々金庫 印

知事又ハ麻長宛

第一號様式乙用紙適宜縦四寸五分 横三寸三分ノモノ三枚接續ニシテ其右方ニ各八分以上ノ綴代
ヲ存セシムヘシ

納 入 契 告 知 書

第 何 號	明治何年度	郡 市 町 氏	名 納
經常(臨時)郡市連帶 款	項 目	何月分又ハ何々	應 應 名

一金何程

明治何年何月何日收入済

右明治何年何月何日限リ愛知縣何金庫へ拂込ムヘシ

知事又ハ麻長氏 名 印

縣金
庫印

領收證書

第何號	明治何年度	郡市町氏	名納
款	項	目	應麻名
<p>一金何程</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">入金取印 庫</p>			
<p>明治何年何月何日領收</p> <p>愛知縣何々金庫印</p>			

縣金庫印

通知書

第何號	明治何年度	郡市町氏	名納
經營(臨時)都市連帶	項	目	何月分又ハ何々
款	應	麻	名
<p>一金何程</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">入金取印 庫</p>			
<p>右明治何年何月何日領收即日何々金庫へ廻送</p> <p>愛知縣何々金庫印</p>			
<p>知事又ハ麻長宛</p>			

備考 一 納入告知書ヲ發スル應解所在郡市内ノ縣金庫ニ現金ヲ拂込マシムルトキハ甲ノ告知書ヲ用ユヘシ

二 納入告知書ヲ發スル應解所在郡市外ノ縣金庫ニ現金ヲ拂込マシムルトキハ乙ノ告知書ヲ用ユヘシ

第二號様式用紙適宜縦四寸五分 横三寸三分ノモノ三枚接續ニシテ其右方ニ各八分以上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

納入契告知書

第何號	明治何年度	郡市町氏	名納
項	目	何月分又ハ何々	應 廩 名

一金何程

明治何年何月何日收入済

右明治何年何月何日限リ出納吏官職氏名へ拂込ムヘシ

明治何年何月何日

知事又ハ廩長氏

名印

出納吏印

第何號 明治何年度 郡市町氏 名納

款 項 目 應 廩 名

一金何程

出納吏印

右領收候也

出納吏

明治何年何月何日

官職氏

名印

領收證書

報 告 書

出納 吏印

第 何 號 明治何年度 郡 市 町 氏 名 納
經常(臨時)都市連帶
 款 項 目 何月分又ハ何々 應 麻 名

一金何程

出納吏 認印

右明治何年何月何日領收

出納吏

官 職 氏 名

印

知事又ハ麻長宛

第三號様式甲

用紙適宜 縦四寸五分 以上ノモノニシテ右方ニ八分以上ノ額代ヲ存
横三寸三分 セシムヘシ △印ハ朱

納 入 告 知 書

第 何 號 明治何年度 第何學年生 氏 名
 經常 款 項 目 麻 名

一金何程

右毎月何日限リ愛知縣本(支)金庫ニ拂込ムヘシ

明治何年何月何日

金庫印

金庫取扱者印

麻長 氏 名

印

四月分	何年何月何日領收	五月分	六月分
七月分		九月分	十月分
十二月分		十二月分	一月分
二月分		三月分	△計
山 事			△金何圓

備考 一

金庫ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ式ノ如ク記入捺印シ告知書
ハ麻長ヘ差出スヘシ

第三號様式乙

用紙適宜 縦四寸五分 以上ノモノニシテ右方ニ八分以上ノ綴代ヲ存
横三寸三分
セシムヘシ
△印ハ朱

納 入 告 知 書

第何號	明治何年度	第何學年生	氏名	經費	款項	目	麻	名
				一金何程				
右本年何月何日限り愛知縣本(支)金庫ニ拂込ムヘシ								
明治何年何月何日								
麻長 氏 名 印								
第一期	第二期	事由						
△計	△金何圓							

備考 一 金庫ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ式ノ如ク記入捺印シ告知書
ハ麻長ヘ差出スヘシ

第四號様式甲

用紙適宜 通知書及其原符ハ縦四寸五分 以上ニシテ其右方ニ各八
横三寸三分
分以上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

何病何院何科何部何處何方	何月	何日	何名
	氏	氏	
藥價	金何程		
金庫取 捺入印			

符原書知通

縣金
庫印

第何號 明治何年度 氏名

款項 目 何月分 又ハ何日 麻名

一金何程

金庫取
扱入印

明治何年何月何日領收

金庫
印

第何號 明治何年度 氏名

款項 目 何月分 又ハ何日 麻名

一金何程

金庫取
扱入印

右明治何年何月何日領收

愛知縣何々金庫印

書知通

麻長宛

備考 一 處方箋ニ記載スル金額ハ麻長通知書及其原符ハ縣金庫ニ於テ記入スヘシ

縣金庫
割印

通 知 書

第 何 號	明 治 何 年 度	氏 名
款 項	目	何 々 麻 名
一金 何 程 <small>金取人 庫扱印</small>		
右明治何年何月何日領収		
愛知縣何々金庫 印		
麻 長 宛		

第六號様式

用紙適宜

縦四寸五分
横三寸三分

以上ノモノニ枚接續ニシテ其右方ニ各八分以
上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

通 知 書

第 何 號	明 治 何 年 度	氏 名 納 名
款 項	目	何 月 分 (又ハ何々) 麻 名
一金 何 程 <small>金取人 庫扱印</small>		
右明治何年何月何日領収		
愛知縣何々金庫 印		
麻 長 宛		

縣金
庫印

領收證書

第何號	明治何年度	氏	名納
經款	項	目	何月分(又ハ何々)
			麻
			名

一金何程

入取金
印扱庫

明治何年何月何日領收

愛知縣何々金庫印

第五號樣式

用紙適宜 縦四寸五分 横三寸三分

ノモノ三枚接續ニシテ其右方ニ各八分以上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

現金拂込書

第何號	明治何年度	應	麻	名
經款(臨時)郡市連帶	項	目	何々(收入ノ目的ヲ記入ス)	

一金何程

右拂込候也

明治何年何月何日

何々應麻

出納吏官職 氏 名 印

領收證書

縣金庫
御印

第何號	明治何年度	拂入込	何々廳 出納吏官職氏名
款	項	目	何々(收入ノ目的ヲ記入ス)

一金何程

金庫取
扱入印

右領收候也

明治何年何月何日

愛知縣何々金庫
印

通知書

縣金庫
御印

第何號	明治何年度	拂入込	何々廳 出納吏官職氏名
款	項	目	何々(收入ノ目的ヲ記入ス)

一金何程


金庫取
扱入印

右明治何年何月何日領收

愛知縣何々金庫
印

知事又ハ麻長宛

第七號様式 用紙寸法適宜



第何號	郡市	町氏	名
明治何年度	款	項	目
一金何程	滞納金		
内	金何程		
金何程	何々(目)		
金何程	何々(目)		
一金五錢	督促手数料		
右明治何年何月何日限り愛知縣何々金庫 <small>(縣出納吏官職氏名)</small> へ拂込ヘシ若シ此期限ヲ過キ完納セサルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ 明治何年何月何日 知事又ハ麻長氏名 			

第八號様式

用紙適宜

縦四寸五分 横三寸三分

ノモノ三枚接續ニシテ其右方ニ各八分以上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

何年度	郡市	町氏	名
雜收入	應	麻	名
一金何程	縣稅滞納處分費辨納金		
右納付候也			
明治何年何月何日			
納人 氏  名 			

領收證書

縣金 庫印	何年度	郡市	町村	氏	名
	雜收入	應		麻	名
<p>一金何程</p> <p>入取金印 撥庫</p> <p>明治何年何月何日領收</p> <p>愛知縣何々金庫印</p> <p>(出納吏官職氏名)印</p> <p>滯納處分費辨納金</p>					

通知書

縣金 庫印	何年度	郡市	町村	氏	名
	雜收入	應		麻	名
<p>一金何程</p> <p>入取金印 撥庫</p> <p>明治何年何月何日領收</p> <p>愛知縣何々金庫印</p> <p>(出納吏官職氏名)印</p> <p>滯納處分費辨納金</p> <p>廳、麻長宛</p>					

第九號様式

乙第何號

縣稅外諸收入滯納者

財產差押

證 票

愛知 縣 印

何 應 麻

官 (職) 氏 名

訓令第十三號

明治三十五年三月五日

內務部 郡役所 町村役場

町村ノ取扱ニ關スル縣稅徵收事務取扱規程左ノ通定メ明治三十五年度所屬ノ徵稅ヨリ施行ス但明治三十年^三訓令第二十七號縣稅徵收事務取扱手續中町村ノ取扱ニ屬スル分ハ本規程施行ノ日ヨリ廢止ス

縣稅徵收事務取扱規程

- 第一條 縣稅ノ徵收事務ハ法律命令ノ規定ニ從ヒ此規程ニ依リ處理スヘシ
 - 第二條 町村役場ニ徵稅原簿ヲ設備シ縣稅ノ賦課ヲ受クヘキモノ、屆書等ニ依リ課稅ノ標準稅額及課稅ノ要件其他徵稅ニ必要ナル事項ヲ登記シ徵稅ノ基礎ト爲スヘシ
- 前項課稅ノ標準其他徵稅ノ要件等ニ異動アリタルトキハ其事由ヲ附記シ加除訂正スヘシ

第三條 町村長ハ府縣制第一百五條ノ納稅義務者ニ對シ戶數割ノ徵收ヲ要スルモノアルトキハ其納稅義務者ノ住所氏名來住ノ年月日及課稅ノ標準等ヲ直ニ郡長ニ報告スヘシ但賦課規則ニ於テ課稅外ニ屬スルモノハ此限ニアラス

第四條 臨時追加ニ係ル稅金ニシテ賦課及徵收ノ期日科目ノ同一ナルモノハ定期ノ徵稅額ト合算シテ徵收スヘシ

第五條 徵稅額ノ算出ハ前乘後除ノ法ニ依リ毛位ニ於テ四捨五入スヘシ

町村ニ於テ戶數割ヲ徵收スルニ假定額ヲ以テ各戶賦課ノ等差ヲ設ケタルモノハ其賦課期日現在ノ現住戶數ニ賦課ノ課率ヲ乘シ町村ノ負擔額ヲ算定シ之レヲ各戶負擔ノ假定額ヲ乘シ其總假定額ヲ以テ除シ一戶ノ負擔額ヲ定ムルモノトス

第六條 町村長ハ縣稅徵收法施行細則第四條第二項ニ依リ稅金ヲ徵收シタルトキハ其賦課ノ科目稅額納稅人ノ住所氏名徵收ノ年月日及計算ノ基礎ヲ詳記シ即日之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第七條 町村長ハ郡長ヨリ徵稅令書ヲ受ケタルトキハ徵稅原簿ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製スヘシ

縣稅徵收法施行細則第四條第二項ニ依リ徵收スル稅金ハ徵稅令書ノ交付ヲ俟タス直ニ徵稅傳令書ヲ調製スヘシ

第八條 徵稅傳令書及之レニ接續スル領收證書ハ縣稅徵收法施行細則第四條ノ様式ニ依リ其要件ヲ記載シ令書ニ發付者ノ職印ヲ捺シ徵稅原簿ト對查契印シ同則第五條ノ期限内ニ之ヲ納稅人ニ交付スヘシ

第九條 町村長ニ於テ徵稅傳令書發付後稅金徵收前ニ於テ徵收延期若クハ稅金ノ減免ヲ許可セラレタル爲メ徵稅令書ノ取消又ハ納付期限更正ノ達ヲ受ケタルトキハ之ニ關係アル徵稅傳令書ヲ取消シ若クハ其令書ニ指定シタル期日ヲ更正スヘシ

第十條 徵稅傳令書發付後税金徵收前ニ於テ徵稅額ニ異動ヲ生シ其減額ヲ要スルモノハ徵稅原簿ニ更正ノ徵稅額及事由ヲ詳記シ擬ノ徵稅額ニ消印シ更ニ訂正令書ヲ作リ縣稅徵收法施行細則第七條ニ依リ令書ノ引換ヲ爲シ其増加ノ場合ニ於テハ同條但書ニ依リ追加令書ヲ發付スヘシ

第十一條 徵稅傳令書發付後税金徵收前ニ於テ令書ニ誤記脱漏アルコトヲ發見シタルトキハ金額ニ關スルモノヲ除ク外訂正スルコトヲ得但訂正ノ箇所ニハ令書發付者ノ職印ヲ以テ證明シ置クヘシ

第十二條 縣稅徵收法施行細則第八條ニ依リ徵稅傳令書若クハ其要領ヲ公示スルノ期間ハ三日以上トス

第十三條 縣稅徵收法施行細則第十條ニ依リ徵稅傳令書ノ再發ヲ爲ストキハ徵稅原簿ニ其事由及年月日ヲ付記シ置クヘシ

第十四條 收入役ニ於テ納稅人ヨリ税金ノ拂込ミヲ受ケタルトキハ徵稅傳令書及之レニ接續シタル領收證書ニ領收ノ年月日ヲ記入シ式ノ如ク證明シ之ヲ切離シテ領收證書ヲ納稅人ニ交付スヘシ

第十五條 第十四條ニ依リ領收證書ヲ交付シタルトキハ其切離シタル徵稅傳令書ニ依リ徵稅原簿ニ税金領收ノ月日ヲ記入シ毎日之ヲ取纏メ徵收金出納簿ニ登記シ常ニ徵收ヲ爲シタル税金ノ現在額ヲ明瞭ナラシムヘシ

第十六條 水火盜難等ニ罹リ税金ノ領收證書ヲ亡失シ其納濟ノ證明ヲ請求スルモノアルトキハ町村長ニ於テ納稅濟ノ證明書ヲ下付スヘシ

第十七條 町村長ニ於テ納稅人ノ賦課額算出上徵稅令書ノ金額ニ過不足ヲ生シタルトキハ徵稅傳令書ノ發付ト同時ニ其金額事由等ヲ都長ニ報告スヘシ

第十八條 營業稅法第三十六條ノ附加稅ニアラサル縣稅ヲ賦課徵收セラレタル營業者ニシテ營業稅法第二條乃至第五條及第七條乃至第十條ノ規定ニ依リ國稅ノ賦課ヲ受クルニ至リタルトキハ其過納ノ税金ハ還付スルモノトス

營業稅法第三十一條ノ規定ニ依リ國稅金ヲ減額セラレタル營業者ニシテ附加稅トシテ既ニ徵收シタル税金アルトキハ其減額ノ割合ニ應ジ之ヲ還付スルモノトス

第十九條 町村長ハ徵稅傳令書ノ誤記若クハ徵稅額ノ錯誤ニ依リ過誤納トナリタルモノヲ發見シタルトキ又ハ第十八條ニ依リ還付スヘキ税金アルトキハ徵稅原簿ニ其事由ヲ附記シ同時ニ賦課ノ科目事由年度金額納稅人ノ住所氏名及徵收ノ年月日等ヲ過誤納額整理簿ニ登記スヘシ

第二十條 町村長ハ徵稅傳令書ノ誤記若クハ徵稅額ノ錯誤ニ依リ過誤納トナリタルモノヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ納稅人ニ通知スヘシ

第二十一條 町村長ニ於テ第十九條ノ過誤納金アルコトヲ發見シタルトキハ其賦課ノ科目事由年度金額納稅人ノ住所氏名及徵收ノ年月日計算ノ基礎ヲ詳記シ都長ニ報告スヘシ

第二十三條 町村長ニ於テ納稅人ヨリ過誤納金還付ノ請求書ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ都長ニ送付スヘシ

前項ノ請求ニ對シ拂戻濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ關係帳簿ニ其顛末ヲ記入スヘシ

第二十三條 町村長ハ賦課期日現在ノ地租額及戶數ヲ調査シ其徵收期ノ初日ヨリ十五日前ニ之ヲ都長ニ報告スヘシ

但家屋稅ヲ賦課スル町村ニ於テハ戶數ニ關スル報告ヲ要セス

隨時賦課期日ヲ定メタルモノニシテ前項ノ日數ナキモノハ徵收期ノ初日ヨリ七日前ニ報告スヘシ

第一項第二項報告後誤記脱漏等ヲ發見シタルトキハ其都度追報スヘシ

第二十四條 町村長ハ常ニ納稅義務者ヲシテ納期ヲ愆ラシメズ所定ノ期限内ニ徵收ヲ了シ其徵收シタル税金ハ速ニ之ヲ縣金庫ニ納付シ徵收事務ヲ完結スヘシ

第二十五條 町村ニ於テ徵收シタル縣税金ヲ亡失シタルトキハ即日其實況ヲ郡長ニ報告スヘシ
 前項税金納入義務ノ免除ヲ申請セントスルトキハ災害ノ原因及事實其他必要ノ事項ヲ詳悉シタル書
 面ニ關係者ノ顛末書ヲ添ヘ災害ノ日ヨリ七日以内ニ郡役所ヲ經山シ縣廳ニ差出スヘシ
 第二十六條 第二十五條第二項ノ申請ニ對シ責任ヲ免除セラレタルトキハ町村長ニ於テ其亡失セシメ
 タル税金ノ年度科目金額及事由ヲ詳記シタル缺損額報告書ヲ調製シ速ニ之ヲ郡長ニ報告スヘシ
 第二十七條 本規程ニ關スル帳簿其他ノ様式ハ別ニ定ムル所ニ依ル

縣令第二十五號 明治三十五年三月十日

市町村立小學校實業補習學校教員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則左ノ通定ム

市町村立小學校實業補習學校教員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則

第一條 明治二十三年法律第九十號及明治二十九年法律第十三號ニ依リ市町村ノ納ムヘキ市町村立小
 學校及實業補習學校ニ在職スル正教員ノ給料額百分ノ一ニ當ル金額ハ市町村ニ對シ納入告知書ヲ發
 シ之ヲ納付セシム
 第二條 納入告知書ハ市ニ對スルモノハ知事町村ニ對スルモノハ郡長之ヲ發スヘシ
 納入告知書ハ明治三十五年二月縣令第十七號使用料手数料其他諸收入徵收規則第四條第一號様式ニ依
 ル
 第三條 市町村ニ於テ第二條ノ納入告知書ヲ受ケタルトキハ該告知書ニ指定スル期日迄ニ現金ニ告知
 書ヲ添ヘ之ヲ指定ノ縣金庫ニ拂込ミ其領收證書ヲ受ケヘシ
 第四條 縣金庫ニ於テ納付金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ其拂込人ニ交付スヘシ

第五條 市町村ノ納付金ハ翌月十五日ヲ以テ納期限トス但納期休日ナルトキハ其前日ヲ以テ期限トス
 第六條 納入告知書ハ納期ノ五日前ニ之ヲ發スヘシ
 第七條 市町村立小學校教員加俸令ニ依リ加俸ヲ受ケルモノアルトキハ毎月其年額十二分ノ一ヲ本俸
 ニ加算シタル額ヲ以テ給料額トス
 第八條 前各條ノ外ハ明治三十五年二月縣令第十七號使用料手数料其他諸收入徵收規則第六條第八條第
 九條第十一條及第二十五條ノ規定ヲ準用ス

附 則

第九條 此規則ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

縣令第二十六號 明治三十五年三月十日
 愛知縣特別會計規則左ノ通定ム

愛知縣特別會計規則

第一條 左ニ掲クル特別會計ノ歲入歲出ハ其收入スヘキ權利又ハ仕拂フヘキ義務ノ確定シタル日ヲ以
 テ會計年度ヲ區分スヘキ但仕拂期月ノ一定シタルモノハ其期月ノ屬スル年度ニ依ル
 一 罹災救助基金
 二 愛知病院全醫學校歲入歲出
 三 岡崎支病院歲入歲出
 四 浪越公園歲入歲出
 五 市町村立小學校及實業補習學校教員恩給基金

- 六 市町村立小學校及實業補習學校教員恩給金
- 七 慈惠救濟基金
- 八 師範學校基金
- 九 第一中學校基金
- 十 博物館基金
- 十一 愛知病院全醫學校基金
- 十二 愛知病院全醫校甲種基金
- 十三 愛知病院全醫學校乙種基金
- 十四 岡崎支病院基金
- 十五 市町村立小學校教員加俸資金
- 十六 教育資金
- 十七 公園基金
- 十八 縣吏員及吏員職員退隱料退職給與金遺族扶助料資金
- 十九 愛知病院全醫學校職員退隱料退職給與金遺族扶助料資金
- 二十 岡崎支病院職員退隱料退職給與金遺族扶助料資金
- 二十一 各種積立金
- 第二條 特別會計ニ屬スル歳出金ニシテ毎年度縣金庫ニ對シ仕拂命令ヲ發スルハ翌年度六月三十日限
リトス
- 第三條 特別會計ニ屬スル歳出金ノ仕拂命令ハ歳出豫算ノ範圍内ニ於テ當該年度收入濟歲入額ヲ超過
スルゴトヲ得ス

- 第四條 特別會計ニ屬スル各種基金ノ収支ハ其基金ヨリ生スルモノ、収支ト區別シ之ヲ混同セシムル
コトヲ得ス
- 第五條 特別會計中各種基金及積立金ニ屬スル公債證書ニハ總テ價格ヲ付スヘシ
- 第六條 特別會計ニ屬スル歳入金ヲ利殖ノ爲メ拂出セントスルトキハ當該年度收入濟額ヲ限度トシ縣
金庫ニ對シ仕拂命令ヲ發スヘシ
- 第七條 第一條第二號ノ収支ハ愛知病院全醫學校長全條第三號ノ収支ハ岡崎支病院長ヲシテ之ヲ取扱
ハシム
- 第八條 前各條ノ外愛知縣會計規則ヲ準用ス

第六八號 (訓令) 明治三十五年三月十一日

内務部 警察部 警察署
警察分署

月手當給與規程左ノ通り相定メ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

但明治三十三年三月訓令第八十八號巡查手當支給規程ハ此規程實施ノ日ヨリ廢止ス

月手當給與規程

通 則

- 第一條 月手當ヲ分テ通常、特別ノ二種トス
- 第二條 通常月手當ハ巡查部長、刑事教習、特別教習、英語教習、外勤、内勤、特務、刑事、請願、
職務所屬未定、ノ各巡查ニ給ス

第三條 特別手当ハ武術教授、刑事專務、英語卒業ノ各巡查及會計事務取扱者(巡查又ハ警察書記)ニ給ス
 第四條 月手當ハ警察部長又ハ警察署長ニ於テ支給額ノ増減ヲ必要ト認ムルトキハ其事由ニ具申スルコトヲ得

通常月手當

第五條 通常月手當ハ夜勤辨當料、武術用具費、宿所家賃、同備品費、同消耗品費、等ニ充ル爲メ左ノ區別ニ依リ別表ノ額ヲ給ス但官舎又ハ自宅居住ノ者ハ其半額ヲ給ス

一等月額 刑事教習巡查

二等月額 特別教習巡查

三等月額 巡查部長

四等月額 外勤巡查

五等月額 外勤巡查

第六條 駐在巡查缺員ノ場合ニ當リ他ノ巡查ヲシテ補勤セシムルトキハ相當ノ月手當ヲ給スルコトアルヘシ
内勤、特務、刑事、英語教習、請願、職務所屬未定ノ名巡查

第七條 通常月手當ハ毎月末日ヲ以テ支給定日トス但支給定日休暇ニ當ルトキハ繰上クルモノトス第

第八條 左ニ掲ケル場合ハ日割支給トス
 一 新任及職務轉換ノ者ハ任命ノ翌日ヨリ支給ス
 二 退職、休職、轉任、轉署、(本、分署間)及廳府縣へ出向ヲ命セラレタル者ハ其辭令接受ノ日迄ヲ支給ス
 三 死亡ノ者ハ其當日迄ヲ支給ス

第九條 日割計算法ハ手當額ニ支給日數ヲ乘シ其月ノ現日數ヲ以テ除シ厘位未満ニ端數ヲ生スルトキハ毛位ニ於テ四捨五入スルモノトス但職務轉換ノトキハ前職及後職ニ屬スル分、格別ニ積算シ其毛糸忽微迄ヲ併算シ毛位ニ於テ四捨五入スルモノトス

特別月手當

第十條 特別月手當ハ別表ノ額ヲ給ス其支給方ハ第七條乃至第九條ヲ適用ス

(別表) (三五訓一二九表中追加)

通常手當月額

等	級	警 察 部	名 古 屋 市	各 郡
一 等	拾	圓		
二 等	被選拔者 市ヨリ	四圓七拾錢		
二 等	被選拔者 市ヨリ	貳圓五拾錢		
三 等	四 (水上警察署)	圓	貳圓參拾錢	壹圓八拾五錢
三 等	貳	圓		
四 等	參 (水上警察署)	圓五拾錢	貳圓五錢	壹圓六拾錢
四 等	參 (水上警察署)	圓五拾錢		參圓五拾錢

五 等 壹圓五拾錢 壹圓八拾錢 壹圓參拾五錢

特別手當月額

種別	警察部	名古屋市	各郡
武術教授巡查	參圓		
刑事專務巡查	五圓	參圓	
英語卒業巡查	貳圓	壹圓五拾錢	
會計事務取扱者	貳圓五拾錢	本署 貳圓	分署 壹圓

縣令第二十八號 明治三十五年三月十二日

有給縣吏員並縣ヨリ給料ヲ受クル吏員、職員退職料退職給與金遺族扶助料規定納金收入規則左ノ通定ム

有給縣吏員並縣ヨリ給料ヲ受クル吏員職吏退職料退職給與金遺族扶助料規定納金收入規則

第一條 明治三十五年一月縣令第十一號有給縣吏員退職料退職給與金遺族扶助料支給規則及同年一月縣令

第十二號縣ヨリ給料ヲ受クル吏員職員退職料退職給與金遺族扶助料支給規則ニ依リ有給縣吏員及縣

ヨリ給料ヲ受クル吏員職員ヨリ縣ニ納ムヘキ金員ハ給料支拂ノトキ縣金庫ニ於テ之ヲ控除スヘシ

現金前渡ヲ受ケタル出納吏ニ於テ前項給料ノ仕拂ヲ爲ストキハ該出納吏ニ於テ之ヲ控除スヘシ

第二條 轉任轉勤若クハ減給等ニ依リ過渡給料ノ返納ヲ要スルトキハ其百分ノ一ヲ納人ニ於テ控除スヘシ

給料ノ増給ニ依リ既納ノ金員ニ不足ヲ生スルトキハ次ノ給料支給ノトキ之ヲ整理スヘシ

縣令第二十九號 明治三十五年三月十五日

縣會ノ議決ヲ經内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得テ左記地域内ノ家屋ニ對シ明治三十五年度ヨリ家屋稅ヲ賦課ス

- 一 愛知郡熱田町
- 一 渥美郡豐橋町

縣令第三十號 明治三十五年三月十五日

縣會ノ議決ヲ經内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得テ左ニ列舉スルモノニ對シ特別稅トシテ明治三十五年度ヨリ縣稅ヲ賦課ス

- 一 行爲ニ課稅スルモノ
- 一 銃器ヲ使用シテ狩獵ヲ爲ス者
- 二 物件ニ課稅スルモノ

法人ノ所有ナル建物但家屋稅ヲ賦課スル地域内ノ建物並營利ヲ目的トセサル法人ノ建物ヲ除ク
仔馬

縣令第三十七號 明治三十五年三月二十日

愛知縣市郡歲入中市豫算編入額收入規則左ノ通定ム

市豫算編入額收入規則

第一條 市豫算編入額ハ毎年度ノ豫算ニ基キ市ニ對シ納入告知書ヲ發シ之ヲ納付セシム

納入告知書ハ明治三十五年ニ縣令第十七號使用料手數料其他諸收入徵收規則第四條第一號樣式ニ依
ル

第二條 市ニ於テ第一條ノ納入告知書ヲ受ケタルトキハ該告知書ニ指定スル期日迄ニ現金ニ告知書ヲ
添ヘ之ヲ指定ノ縣金庫ニ拂込ミ領收證書ヲ受クヘシ

第三條 縣金庫ニ於テ納付金ノ拂込ミヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ其拂込人ニ交付スヘシ

第四條 市豫算編入額ハ毎年五月八月十一月及二月ノ各十日ヲ以テ納期限トス但臨時追加ニ係ルモノ
ハ其時々之ヲ定ム

第五條 納入告知書ハ納期ノ五日前ニ之ヲ發スヘシ

第六條 每期ノ納付金額ハ豫算年額ノ四分ノ一トス

第七條 前各條ノ外ハ明治三十五年ニ縣令第十七號使用料手數料其他諸收入徵收規則第六條第八條第
九條第二十五條ノ規定ヲ準用ス

縣令第四十號 明治三十五年三月二十六日

明治三十五年ニ縣令第十二號縣ヨリ給料ヲ受クル吏員職員退職給與金遺族扶助料支給規則ニ依
リ退職料退職給與金遺族扶助料ヲ支給スヘキ吏員職員左ノ通定ム

一 警察醫、警察技手、巡查教習所語學教授、船長、機關士、運轉士、警察書記、參事會書記、衛生技
術員、驅微院長、同醫員、同書記、同調劑手、測候所技手、同書記、農事試驗場技師、同技手、同
書記、水產試驗場技手、同書記、博物館書記、農事講習所技師、同技手、林業技師、同技手、同書
記、農事巡回教師、愛知病院醫員、同書記、同看護長、同調劑手、愛知醫學校教員、岡崎支病院長、
同醫員、同調劑手、同書記

訓令第十八號 明治三十五年三月二十八日

知事官房	內務部	警察部
郡市役所	警察署	警察分署
縣立學校	縣立病院	驅微院
農事試驗場	農事講習所	博物館
測候所		

縣稅其他諸收入徵收事務取扱規程左ノ通定ム

縣稅其他諸收入徵收事務取扱規程

第一章 總則

第一條 縣稅使用料手数料其他縣ノ收入ニ屬スル徵收事務ハ法律命令ノ規定ニ從ヒ此規程ニ依リ處理スヘシ

第二條 郡役所ハ縣稅徵收原簿ヲ設備シ縣稅ノ賦課ヲ受クヘキモノ、屆書其他ノ資料ニ依リ課稅ノ標準稅額及課稅ノ要件ヲ登記シ徵稅ノ基礎ト爲スヘシ
地租割ノ徵稅原簿ハ所轄稅務署戸數割ノ徵稅原簿ハ町村役場ヨリ報告ヲ受ケタル資料ヲ以テ之レニ充用スルモノトス

第三條 各廳廩ハ左ニ掲クル諸收入ノ徵收原簿ヲ設備シ徵收額及徵收ニ關スル要件ヲ登記シ收納ノ基礎トナスヘシ

一 縣有及縣費ノ負擔ニ屬スル營造物若クハ公共ノ用ニ供シタル財產及其他ノ縣有財產ノ使用ニ對スル使用料貸借料中其使用許可若クハ貸借契約ノ數年ニ涉ルモノ若クハ毎月徵收ヲ要スル料金

二 市町村立小學校實業補習學校教員恩給基金

三 賦金

第四條 第二條第三條原簿ノ課稅ノ標準若クハ徵收ノ要件等ニ異動アリタルトキハ其事由ヲ附記シ加除訂正スヘシ

第五條 郡役所ニ於テ地租割及營業稅附加稅賦課ノ資料トシテ所轄稅務署ヨリ報告ヲ受クヘキ事項ハ左ノ如シ但隨時賦課期日ヲ定ムル地租割賦課ノ資料及其他必要ノ事項ハ其郡度所轄稅務署ヘ請求シテ報告ヲ受クヘシ

一 各町村毎年四月一日及十月一日現在地租額

二 營業稅法ニ依リ營業稅ヲ納ムル營業者毎年一月一日ノ現在ニ係ル業名稅金額及其住所氏名

三 營業稅法第二十三條第一項但書及全條第二項ニ該當スル營業者アルトキハ其開廢業年月日業名

及住所氏名

四 營業稅法第二十二條ニ該當スル營業者アルトキハ其開業年月日業名稅金額及其住所氏名

五 營業稅法第二十三條ニ該當スル營業者アルトキハ其開業年月日業名稅金額及其住所氏名但前營業者ノ住所氏名共

六 營業稅法第三十條ニ依リ徵收ヲ猶豫セラレタル營業者及其徵收ヲ猶豫セラレタル原額ニ依リ徵收セラレタル營業者アルトキハ其業名及住所氏名

七 營業稅法第三十一條ニ依リ稅金ヲ減額セラレタル營業者アルトキハ其業名稅金額許可年月日及其住所氏名

前項第一ハ毎年四月十月ノ各七日マテニ第二ハ三月二十五日迄ニ第三乃至第七ハ開廢業其他異動ノ時々報告ヲ受クルモノトス

第六條 屠宰稅銃獵稅ノ徵收原簿ハ所轄警察署及警察分署ヨリ報告ヲ受ケタル資料ニ依リ第二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 營業稅附加稅ノ徵收原簿ハ所轄稅務署ヨリ報告ヲ受ケタル資料ニ依リ第二條ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 郡役所ニ於テ第五條第二乃至第七ノ報告ヲ受ケタルトキハ其郡度之ヲ町村役場ニ通報スヘシ

第九條 臨時追加ニ係ル稅金ニシテ賦課及徵收ノ期日科目ノ定期徵收ニ係ルモノト同一ナルトキハ定期ノ徵稅額ニ合算シテ之ヲ徵收スヘシ

第十條 徵稅令若クハ納入告知書ハ總テ徵稅額集計簿若クハ調定原簿ニ依リ調製シ之レヲ發付スヘシ

第十一條 徵稅令若クハ納入告知書發付後徵收前ニ於テ徵收金ノ減免又ハ徵收延期ノ許可ヲ受ケタ

ルモノアルトキハ訂正ノ令書若クハ告知書ヲ交付シ又ハ納期ノ更正ヲ達スヘシ

第十二條 徵稅令書若クハ納入告知書發付後徵收前ニ於テ令書若クハ告知書ニ誤記脱漏アルコトヲ發見シタルトキハ其金額ニ係ルモノハ收入命令者ノ決裁ヲ經テ再發ノ手續ヲ爲シ其金額ニ係ルモノハ

第十三條 徵稅令書若クハ納入告知書發付後其所屬年度科目等ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其都度收入命令者ノ決裁ヲ經テ更正ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 徵稅令書納入告知書及件促狀ノ受領ヲ拒ミ又ハ納入ノ所在知レサル場合ニ於ケル令書告知書件促狀又ハ其要領ヲ公示スルノ期間ハ三日以上トス

第十五條 民事訴訟法第六百五十四條ニ依リ競賣開始決定ノ催告アリタルトキ明治三十三年三月勅令八十一號府縣稅徵收ニ關スル規則第七條ニ從ヒ徵收スルコトヲ得ヘキ稅金アルトキハ其年度科目金額等ヲ通知スヘシ

第十六條 水火盜難等ニ罹リ納付金ノ領收證書ヲ亡失シ其納濟ノ證明ヲ請求スルモノアルトキハ町村ニ於テ徵收シタルモノヲ除クノ外其徵收ヲ爲シタル收入命令者ニ於テ納付濟ノ證明書ヲ下附スヘシ

第十七條 郡役所ニ於テ縣稅ノ徵收ヲ要スルトキハ主務者ニ於テ徵稅額集計簿ニ依リ一町村若クハ一人別ノ徵稅額任譯書及集計書ヲ作り收入命令者ノ決裁ヲ經テ徵稅額ヲ確定シ徵稅令書ヲ圖製スルモノトス

第十八條 徵稅令書及之レニ接續スル領收證書通知書ハ縣稅徵收施行細則第二條第三條ノ様式ニ依リ其要件ヲ記載シ令書ニ發付者ノ職印ヲ捺シ徵稅額集計簿ト對査契印シ同則第五條ノ期限内ニ町村若クハ納稅人ニ交付スヘシ

第十九條 郡役所ニ於テ縣稅徵收施行細則第四條第三項ニヨリ町村長ヨリ稅金徵收濟ノ報告ヲ受ケタルトキハ主務者ニ於テ之ヲ調査シ正當ト認メタルトキ直ニ第十七條第十八條ノ例ニ依リ同則第十三條ニ定メタル期日ヲ指定シタル徵稅令書ヲ町村長ニ交附スヘシ

第二十條 徵稅令書發付後稅金徵收前ニ於テ徵稅額ニ異動ヲ生シ其減額ヲ要スルモノハ徵稅額集計簿ニ更正ノ徵稅額ヲ登記シ蓋ノ徵稅額ニ消印シ更ニ訂正令書ヲ作り之カ引換ヲ爲シ其増加ノ場合ニ於テハ追加令書ヲ發付スルモノトス

第二十一條 賦課期日後轉業兼業又ハ物件其他ノ變更ニ依リ徵稅額ニ異動ヲ生シ追徵ヲ爲ストキハ追徵額ノミヲ變更科目ニ編入整理スヘシ

第二十二條 府縣制第五條ノ納稅義務者ヨリ戶數割ノ徵收ヲ要スルモノアルトキハ町村長ノ報告ニ依リ第十七條第十八條ノ手續ヲ爲スヘシ但賦課規則ニ於テ課稅外ニ屬スルモノハ此限ニアラス

第二十三條 徵稅令書ノ再發ヲ請求スルモノアルトキハ主務者ニ於テ之ヲ調査シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ徵稅額集計簿ニ其事由及年月日ヲ附記シ令書ヲ圖製交付スヘシ此場合ニ於テハ令書ノ右肩ニ再發ノ文字ヲ記入シ蓋クモノトス

前項ノ場合ニ於ケル令書ノ納期限ハ當初指定ノ期日ヲ變更スルコトヲ得ス

第二十四條 徵稅額ノ算出ハ總テ前乘後除ノ法ニ據ルヘシ

第二十五條 營業稅法第三十六條ノ附加稅ニアラサル賦課稅ヲ賦課徵收セラレタル營業者ニシテ營業稅法第二條乃至第五條及第七條乃至第十條ノ規定ニ依リ國稅ノ賦課ヲ受クルニ至リタルトキハ其過納トナリタル稅金ヲ還付スヘシ

營業稅法第三十一條ノ規定ニ依リ國稅金ヲ減額セラレタル營業者ニシテ附加稅トシテ既ニ徵收シタル稅金アルトキハ其減額ノ割合ニ應シ之ヲ還付スヘシ

第二十六條 郡役所ニ於テ徵稅令書ニ記載以外ノ金額ヲ過納シ又ハ徵稅令書ノ誤記若クハ徵稅額ノ錯誤ニ依リ過納若クハ誤納トナリタルモノヲ發見シタルトキ及第二十五條ニ依リ還付テ要スヘキ稅金アルトキハ其稅目金額課稅標準納稅人ノ住所氏名其他必要ノ事項ヲ過誤納額整理簿ニ登記シ徵稅原簿及徵稅額集計簿ニ其事由ヲ付記シ置クヘシ

前項ノ金額ハ町村若クハ納稅人ノ請求ヲ俟テ拂戻ノ手續ヲ爲スヘシ但本項ノ金額ハ他ノ納稅金ト差額計算ヲ爲スコトヲ得ス

第二十七條 郡役所ニ於テ徵稅令書ノ誤記若クハ徵稅額ノ錯誤ニ依リ過納若クハ誤納トナリタルモノヲ發見シタルトキハ主務者ニ於テ其事由ヲ詳記シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ町村若クハ納稅人ニ通知シ過誤納金拂戻ノ請求ヲ爲サシムヘシ

第二十八條 郡役所ニ於テ町村若クハ納稅人ヨリ過納若クハ誤納トナリタル金額及其他還付ヲ要スヘキ金額ノ拂戻請求書ヲ受ケタルトキハ科目及事由ヲ具シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ其徵收ヲ爲シタル年度ノ當該科目ノ歳入ヨリ拂戻ノ手續ヲ爲スヘシ但年度經過後ハ一切拂戻ヲ爲スコトヲ得ス
前項ノ金額ニシテ其徵收ヲ爲シタル年度内ニ拂戻ノ完結セサルモノアルトキハ賦課科目年度金額納稅人ノ住所氏名徵收ノ年月日計算ノ基礎及其事由ヲ詳記シ年度經過後十五日以内ニ之ヲ報告スヘシ

第二十九條 內務部第五課ハ第二十八條第二項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ過誤納額整理簿ニ登記シ整理ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十條 郡役所ハ納人ヨリ年度經過後ニ於テ過納若クハ誤納トナリタル金額及其他還付ヲ要スヘキ金額ノ拂戻請求書ヲ受ケタルトキハ事實ヲ調査シ還付ヲ要スルモノト認ムルトキハ速ニ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ

第三十一條 內務部第五課ハ第三十條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ事實ヲ調査シ還付ヲ要スルモノト認ムルトキハ決裁ヲ經テ拂戻ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十二條 第二十八條及第三十一條ノ還付金ハ其拂戻濟ノ年月日ヲ郡役所ニ在テハ町村役場ニ縣廳ニ在テハ郡役所及町村役場ニ通知スヘシ

第三十三條 郡役所ニ於テ第三十二條ノ通報ヲ受ケタルトキハ直ニ過誤納額整理簿ニ其顛末ヲ記入スヘシ

第三十四條 郡役所ハ會計法第十八條ノ期間内ニ於テ稅金ノ遺脱ヲ發見シタルトキハ第十七條第十八條ノ例ニ依リ年度ノ異ナル毎ニ各別ニ徵稅令書ヲ調製シ之ヲ發付スヘシ

前項ノ稅金ヲ徵收スルトキハ現年度ニ係ルモノ、外ハ縣稅外收入トシテ整理スヘシ

第三十五條 郡役所ハ町村ニ於テ徵收シタル縣稅金ヲ亡失シタルモノアルトキハ速ニ其顛末ヲ報告スヘシ

第三十六條 郡役所ハ町村ヨリ明治三十三年勅令第八十一號第二條ニ依リ稅金納入義務免除ノ申請書ヲ受ケタルトキハ其事實ヲ調査シ意見ヲ付シ速ニ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ徵稅額集計簿ニ其事由ヲ付記シ置キ町村カ責任免除ヲ得タルトキハ町村長ヨリ差出ス缺損報告書ニ依リ缺損額ノ整理ヲ爲シ又辨償ヲ命セラレタルトキハ其顛末ヲ登記スヘシ

第三十七條 内務部第五課ハ第三十六號ノ税金納入義務免除ノ申請書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ決裁ヲ經テ許否ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十八條 郡役所ハ賦課期日ノ現在ニ賦課スル税金ハ各徵收期限後十日其他日税及ヒ隨時徵收ニ係ルモノハ毎月末日ノ現況ヲ以テ徵稅額既未納報告書ヲ調製シ各其翌日縣廳ニ差出スヘシ
前項報告後其徵收ヲ完了スルマテハ七日毎ニ其額末ヲ追次報告スヘシ但徵收ノ完了シタルトキハ本項ノ期日ニ拘ラス即報スルモノトス

第三十九條 内務部第五課ハ第三十八條ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ徵稅未済額ノ整理ヲ爲スヘシ

第四十條 郡役所ハ翌年度五月三十一日迄ニ縣稅徵收事務ヲ完了シ徵稅額集計簿ニ據リ徵稅額報告書ヲ調製シ六月三十日限り縣廳ニ差出スヘシ
徵稅額報告書差出後七月三十一日迄ニ徵稅未済額缺損額過誤納額ニ異動ヲ生シタルトキハ八月五日迄ニ追加報告書ヲ差出スヘシ

第四十一條 内務部第五課ハ第四十條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ八月十五日迄ニ徵稅額統計書ヲ調製シ査閱ヲ受クヘシ

第四十二條 郡役所ハ毎年度賦課期日現在ニ於ケル地租額戸數及建物ノ箇數ヲ町村別ニ區分シ各其徵收期限後五日以内ニ之ヲ報告スヘシ但建物ノ箇數ハ其建物ノ種別ニ依リ區分記載スルモノトス
前項報告後異動ヲ生シタルトキハ増減ノ事由ヲ付シ其郡度之ヲ報告スヘシ

第四十三條 町村ニ於テ徵收シタル縣稅ノ徵收費ハ郡役所ニ於テ毎年十月四月ノ兩度ニ前六ヶ月分ヲ町村ニ交付スルモノトス

第四十四條 第四十三條ノ徵收費ハ主務者ニ於テ徵稅額集計簿ニ據リ每半年度一町村各款別ニ取調徵

收費仕譯書ヲ製シ各交付期月ノ末日マテニ交付ノ手續ヲ爲スヘシ
年度經過後ニ於テ徵收シタル税金ニ對スル徵收費ノ仕譯書ハ之ヲ年度毎ニ區分調製スヘシ

第四十五條 徵收費ノ算出ハ町村毎ニ各款ノ徵稅額ヲ集計シ之ニ百分ノ四ヲ乘シ毛位ニ於テ四捨五入スヘシ但組合町村ハ一町トシテ計算スルモノトス

第四十六條 郡役所ハ常ニ町村ノ徵收事務ノ監督ニ注意シ徵收ニ關スル簿冊ハ毎年一回以上隨時ニ監査ヲ爲スヘシ
町村ニ設備スル徵稅原簿ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ郡役所ノ原簿ト對照ヲ爲サシムヘシ
第一項ニ依リ監査ヲ爲シタルトキハ其町村名監査ノ年月日及其實況ヲ監査後十五日以内ニ報告スヘシ

第三章 使用料手数料其他諸收入

第四十七條 縣廳ニ於テハ左ニ掲クル事項ヲ其時々主務ノ各課ヨリ内務部第五課ニ通知スヘシ但第二號ニ係ルモノニシテ其使用許可若ハ貸付ノ一時限リニ屬スルモノハ通知ヲ要セス

一 市立小學校及實業補習學校正教員ノ命免俸給額及其異動等恩給基金ノ徵收ニ關スル要件
二 縣有及縣費ノ負擔ニ屬スル營造物若クハ公共ノ用ニ供シタル財産及其他ノ縣有財産ノ使用許可若クハ貸付、料金額、使用許可若クハ貸付期間及其異動等料金額徵收ニ關スル要件

第四十八條 知事官房内務部警察部ノ各課ハ其主掌ニ屬スル收入金ノ徵收ヲ要スルトキハ年度科目金額納人ノ住所氏名及事由ヲ詳記シタル收納報告書ヲ製シ必要書類ヲ添ヘ内務部第五課ニ送付スヘシ但法令又ハ契約等ニ依リ特ニ其納期ノ定メアルモノハ之ヲ附記スルモノトス

第三條ニ依リ徵收原簿ヲ設備シタルモノハ内務部第五課ニ於テ收納調書ヲ調製スヘシ但全條第二號ノ收入ニ關スルモノハ此限リニアラス

納期ノ一定シタルモノ、收納報告書ハ納期初日ノ十五日前三項ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十九條 第四十八條ノ收納報告書送付后誤謬脱漏アルコトヲ發見シタルトキハ其都度訂正ノ手續ヲ爲スヘシ但納入告知書發付済ニ係ルトキハ別ニ訂正報告書ヲ調製シ之ヲ送付スルモノトス

第五十條 第四十八條第一項ニ依リ添付スヘキ書類ハ概テ左ノ如シ

- 一 物件ノ使用許可賣拂貸付ニ關シテハ命令書決議書若クハ指令ノ謄本又ハ會計規則第三十三條ニ基キ契約シタル契約書若ハ該書類中物件ノ品質數量金額及事由ノ明記ナキモノハ之ヲ認ムヘキ書類
- 二 會計規則第四十二條ノ豫定價格調書
- 三 競争若クハ指名入札ヲ爲シタルモノハ其落札及次札但再入札ノ場合ニ於テハ前入札中豫定價格ニ最近ノ分共
- 四 競争若クハ指名入札ノ場合ニ於テ入札者一名ナルトキ又ハ會計規則第四十五條ニ依リ再度ノ入札ヲ爲シタルトキ若クハ抽籤ヲ以テ落札ヲ定メタルトキハ其說明書
- 五 會計規則第四十七條ニ依リ指名入札ヲ爲サシメタルトキハ其理由ヲ詳記シタル說明書
- 六 會計規則第三十三條但書中第八號第十一號第十二號ヲ除キタル各號及同則第四十八條ノ隨意契約ヲ爲シタル理由ヲ詳記シタル說明書
- 七 一個人ノ爲メニスル事務ノ手数料賠償金懲罰金沒收金等ノ收入ニ關シテハ命令書決議書若クハ指令ノ謄本又ハ契約書
- 八 前各號ノ外調査上必要ト認ムル書類

第五十一條 內務部第五課ハ主務課ヨリ收納報告書ノ送付ヲ受ケ又ハ收納調書ヲ調製シタルトキハ主務者ニ於テ之ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ傳票ヲ調製シ第四十八條第一項但書ニ係ルモノ、外納期

ヲ付記シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ徵收額ヲ確定シ調定原簿ニ其要件ヲ登記シ之ニ依リ納入告知書ヲ調製スヘシ

第五十二條 各縣ニ於テ收入金ノ徵收ヲ要スルトキハ主務者ニ於テ關係書類ニ據リ其金額事由其他必要ノ事項ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ第五十一條ノ例ニ依リ收入命令者ノ決裁ヲ經テ調定原簿ニ其要件ヲ登記シ之ニ依リ納入告知書ヲ調製スヘシ

第五十三條 明治三十四年三月縣令第十七號使用料手数料其他諸收入徵收規則第二條第一項第五號ノ收入及第十二號中病院ノ治療用品賣拂代ノ收入ニ關シテハ收納報告書ノ調製及調定原簿ノ設備ヲ省察スルコトヲ得

前項ニ依リ調定原簿ノ設備ヲ省察シタルトキハ適宜ノ書留簿ヲ設ケ徵收ノ要件ヲ登記シ徵收金ノ整理ヲ爲シ第六十八條ノ調定額報告書調製ノ基礎トナスヘシ

前項ノ書留簿ハ其様式ヲ具シ届出スヘシ

第五十四條 納入告知書及之レニ接続スル領收證書通知書ハ明治三十五年三月縣令第十七號使用料手数料其他諸收入徵收規則第四條ノ様式ニ依リ其要件ヲ記載シ告知書ニ發付者ノ職印ヲ捺シ調定原簿ニ對査契印シ同則第五條ノ期限内ニ納入ヘ交付スルモノトス

收入告知書ヲ發スル廳庫所在地外ニアル縣金庫ニ現金ヲ拂込マシメントスルトキハ明治三十五年三月縣令第十七號使用料手数料其他諸收入徵收規則第四條第一號乙様式ノ納入告知書ヲ發スヘシ

第五十五條 納期ノ一定シタル使用料手数料其他ノ諸收入ニシテ一町村又ハ一區域内ニ於テ同種ノ納金ヲ爲ス者數人アリテ豫メ總代人ヲ定メ届出タルトキハ其總代人ニ對シ納入告知書ヲ發スルコトヲ得

第五十六條 納入告知書發付後徵收前ニ於テ徵收額ニ異動ヲ生シ其減額ヲ要スルモノハ第五十一條若

クハ第五十二條ノ手續ニ依リ更ニ徵收額ヲ確定シ之ヲ調定原簿ニ登記シ其ノ調定額ニ消印シ備考ニ
其事由ヲ付記シタル後更ニ納入告知書ヲ作り之カ引換ヲ爲スヘシ

徵收金免除ノ爲メ納入告知書ノ取消ヲ要スルトキハ年度科目金額告知書番號納入ノ住所氏名及其事
由ヲ詳其シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ納入ニ通報シ納入告知書ヲ返付セシムヘシ

前項ニ依リ納入告知書ノ返付ヲ受ケタルトキハ收入命令者ノ決裁ヲ經テ調定原簿ニ其事由ヲ付記シ
調定額消ニ印シ同時ニ告知書ノ棄却ヲ爲スヘシ

第一項及第三項ニ依リ調定ノ減額シタルトキハ調定原簿ニ其金額及事由ヲ登記シ調定額ノ控除ヲ爲
スヘシ

第五十七條 納入告知書發付後ニ於テ徵收額ニ異動ヲ生シ追徵ヲ要スルトキハ第五十一條若ハ第五十
二條ノ手續ニ依リ追加告知書ノ發付ヲ爲スヘシ

第五十八條 第三十四條ニ依リ進脱ノ税金ヲ徵收シタルトキハ當該年度出納閉鎖前ニ係ルモノ、外給
ヲ過年度收入ノ科目ニ編入整理スヘシ

第五十九條 納入告知書ノ再發ヲ請求スルモノアルトキハ主務者ニ於テ之ヲ調査シ收入命令者ノ決裁
ヲ經テ調定原簿ニ其事由及年月日ヲ附記シ告知書ヲ調製交付スヘシ此場合ニ於テハ告知書ノ右肩ニ
再發ノ文字ヲ記入シ置クモノトス

前項ノ場合ニ於ケル納入告知書ノ納期限ハ當初指定ノ期日ヲ變更スルコトヲ得ス

第六十條 納入告知書ノ誤記若ハ調定額ノ錯誤ニ依リ過納若ハ誤納ト爲リタルモノヲ發見シシタル
トキ又ハ使用料手数料ノ還付ヲ要スルモノアルトキハ其科目金額納入ノ住所氏名其他必要ノ事項ヲ
過誤納整理簿ニ登記シ調定原簿ニ其事由ヲ付記シ置クヘシ
前項金額ハ納入ノ請求ヲ俟テ拂戻ノ手續ヲ爲スヘシ但本項ノ金額ハ他ノ納付金ト差繼計算ヲ爲スコ

トヲ得ス

第六十一條 納入告知書ノ誤記若ハ調定額ノ錯誤ニ依リ過納若ハ誤納トナリタルモノヲ發見シタル
トキハ主務者ニ於テ其事由ヲ詳記シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ納入ニ通知シ過誤納金拂戻ノ請求ヲ爲
サシムヘシ

第六十二條 各解ニ於テ過納若ハ誤納トナリタル金額及其他ノ還付ヲ要スヘキ金額ノ拂戻請求書ヲ受
ケタルトキハ科目金額及事由ヲ詳其シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ其徵收ヲ爲シタル年度ノ當該科目ノ
歳入ヨリ拂戻ノ手續ヲ爲スヘシ但年度經過後ハ一切拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

前項金額ニシテ其徵收ヲ爲シタル年度内ニ拂戻ノ完結セサルモノアルトキハ年度科目金額納入ノ住
所氏名徵收ノ年月日計算ノ基礎及其事由ヲ詳記シ年度經過后十五日以内ニ之ヲ報告スヘシ

內務部第五課ニ於テ縣廳直披ノ歳入ニ屬スル過納若クハ誤納及ヒ其他還付ヲ要スヘキ金額ノ拂戻請
求書ヲ受ケタルトキハ當該年度出納閉鎖期日迄ハ第一項ノ手續ニ準シ之ヲ拂戻スヘシ

第六十三條 使用料手数料其他諸收入ノ拂戻ニ關スル取扱ハ前三條ノ規定ヲ除クノ外第二十九條乃至
第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第六十四條 會計法第十八條ノ期間内ニ於テ徵收金ノ進脱ヲ發見シタルトキハ第五十一條若クハ第五
十二條ノ例ニ依リ納入告知書ヲ調製シ之ヲ發付スヘシ

收入金ノ種類性質ニ依リ會計法ノ規定ヲ適用シ得ルモノハ各其法律ノ規定スル時効期間内ニ前項ノ
手續ヲ爲スヘシ

第六十五條 徵收額ノ算出ハ前乘後除ノ法ニ依リ法令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外毛位ニ於テ四
捨五入スヘシ

日割徵收ヲ要スルモノハ其年若ハ月ノ現日數ニ依ル

第六十六條 出納吏ニ於テ歳入金ヲ亡失シ其責任ノ免除ヲ受ケタルトキハ其年度科目金額納人ノ住所
氏名收入済ノ年月日計算ノ基礎及其亡失並責任ノ免除トナリタル事由ヲ詳記シタル歳入金缺損報告
書ヲ調製シ責任免除ノ日ヨリ七日以内ニ所屬廳解ノ收入命令者ニ報告スヘシ

第六十七條 各廳ノ收入命令者ハ納期限ノ一定シタル收入金ハ各其期限後十日隨時ノ收入金ハ毎月末
日ノ現況ヲ以テ徵收額既未納報告書ヲ調製シ各其翌日之ヲ縣廳ニ差出スヘシ
前項報告後其徵收ヲ完了スルマテハ七日毎ニ其顛末ヲ追次報告スヘシ但徵收ノ完了シタルトキハ本
項ノ期日ニ拘ラス即報スルモノトス

第六十八條 各廳ハ翌年度五月三十一日迄ニ徵收事務ヲ完了シ調定原簿ニ據リ調定額報告書ヲ調製シ
六月三十日限リ縣廳ニ差スヘシ
調定額報告書差出後七月三十一日迄ニ徵收未済額缺損額過誤納額ニ異動ヲ生シタルトキハ八月五日
迄ニ追加報告書ヲ差出スヘシ

第六十九條 內務部第五課ハ調定原簿ニ依リ縣廳直派ニ係ル收入金ノ調定額報告書ヲ調製シ翌年度八月五日迄ニ
收入命令者ノ査閲ヲ受クヘシ
徵收額統計書ヲ調製シ査閲ヲ受クヘシ

第七十條 郡市役所ハ毎月賦課期日現在ニ於ケル娼妓及席代茶屋ノ員數並賦金ノ調定額ヲ其徵收期
限後五日以内ニ之ヲ報告スヘシ但報告後異動ヲ生シタルトキハ其増減ノ事由ヲ付シ其都度報告スル
モノトス

第七十一條 特別會計ノ歳入ニ屬スル收入金ノ徵收ニ關シテハ本章ノ規程ヲ準用ス
第四章 縣稅及使用料手数料其他諸收入ノ滯納處分

第七十二條 各廳解ニ滯納額整理簿ヲ設備シ縣稅使用料手数料其他諸收入金ノ徵收期限ヲ過キ完納セ
サルモノ、住所氏名及科目金額所屬年度等ヲ記載シ滯納金ノ整理ヲ爲スヘシ
前項整理簿中縣稅ニ係ルモノハ縣稅徵收施行細則第十九條ノ報告ニ據リ登記スルモノトス

第七十三條 督促狀ハ第七十二條ノ整理簿ニ基キ之ヲ調製シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ該簿ト契印シ遲
クモ徵收期限後七日以内ニ之ヲ發付スルモノトス
前項督促狀ニハ五日以内ニ於テ納期日ヲ指定スヘシ但シ特別ノ事情アルモノハ稟申ノ上之ヲ定ムルモ
ノトス

第七十四條 納付代人ニ於テ滯納シタルトキハ其督促狀ハ直ニ本人ニ對シ發付スヘシ
第七十五條 第七十三條ノ督促狀ハ科目別ニ調製スヘシ但一人ニシテ數種ノ納金ヲナスヘキ者ニ對シ
同時ニ發スル督促狀ハ數科目ヲ列記シ一紙ニ調製スルコトヲ得

第七十六條 明治三十五年ニ縣令第十七號使用料手数料其他諸收入徵收規則第十七條第二項ノ場合ハ
督促ノ方法ヲ具シ收入命令者ノ決裁ヲ經テ督促ノ手續ヲナスヘシ但滯納者ニ對シ特別ノ規定若クハ
契約アル者ハ其規定若クハ契約ニ依リ速ニ處分ノ手續ヲナスヘシ
第七十七條 各廳ニ於テ第七十六條ノ滯納者ニ對シ督促ヲ加フルモ尙納付セス若クハ納付ノ見込ナキ
モノアルトキハ滯納ノ科目金額所屬年度納付期限滯納者ノ住所氏名及其處理ヲ爲シタル顛末ヲ詳記
シ具申スヘシ但契約アルモノハ契約書ノ謄本ヲ添付スルモノトス

第七十八條 第七十七條ノ具申アルタルトキハ內務部第五課ニ於テ其事實ヲ審査シ決裁ヲ經テ處分ノ
手續ヲ爲スヘシ
第七十九條 各廳ニ於テ督促狀指定ノ期限内ニ滯納金及督促手数料ヲ完納セサルモノアルトキハ滯納
額整理簿ニ其事由ヲ附記シ同時ニ財産差押命令簿ニ之ヲ要件ヲ轉記シ收入命令ノ決裁ヲ受ケ督促狀

指定ノ期限後遅クモ十日以内ニ財産差押ノ處分ヲ執行スヘシ
 縣廳直報ニ係ルモノハ内務部第五課ニ於テ前項ノ手續ニ依リ決裁ヲ經テ處分ノ執行ヲ爲スヘシ
 各縣ニ於テ滞納處分ノ囑托ヲ受ケタルトキハ直ニ財産差押命令簿ニ其要ヲ登記シ第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第八十條 各縣ニ於テ要スル財産差押ノ證票ハ豫メ其携帶セシムヘキ官吏更員又ハ職員ノ氏名ヲ具シ必要ノ員數ヲ縣廳ニ請求スヘシ但毀損又ハ不用ニ歸シタル證票ハ其事由ヲ記シ速ニ還納スルモノトス

縣廳ニ於テ要スル財産差押ノ證票ハ内務部第五課ニ於テ決裁ヲ經テ豫メ其携帶セシムヘキ官吏更員ヲ定メ之ヲ交付シ置クコトヲ得

第八十一條 各縣ニ於テ第八十條ノ證票ヲ亡失シタルモノアルトキハ其事由ヲ詳記シ速ニ縣廳ニ報告シ同時ニ所轄警察署ニ通知スヘシ

前項ノ報告アリタルトキハ内務部第五課ニ於テ決裁ヲ經テ該記票ノ無効タルコトヲ公示スヘシ

第八十二條 財産ノ差押ヲ爲スニ該リ納人逃亡若クハ失踪シ遺留財産ナキモノアルトキハ財産ノ差押ヲ命シタル官吏々員ニ於テ調査ヲ作リ收入命令者ニ差出スヘシ

第八十三條 各縣ニ於テ財産差押後公賣前ニ滞納者又ハ第三者ニ於テ滞納處分費及徵收金ヲ完納シタルモノアルトキハ收入命令者ノ決裁ヲ受ケ其財産ノ差押ヲ解除スヘシ

縣廳直報ニ係ルモノハ内務部第五課ニ於テ決裁ヲ經テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第八十四條 各縣長ハ縣外ニ於テ滞納處分ヲ爲スコトヲ要スルトキハ縣廳ヲ經テ其處分ヲ爲スヘキ地ノ郡市長島司區長ニ囑托スヘシ但滞納處分ヲ爲スヘキ地ノ郡市長ニ直接囑托スヘキコトヲ豫メ指定シ丁ルモノハ縣廳ヲ經由スルヲ要セス

第八十五條 國稅徵收法第十二條ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ其差押ヲ爲スヘキ官吏々員若クハ職員ニ於テ其顛末書ヲ調製シ收入命令者ニ差出スヘシ

第八十六條 第八十三條ニ依リ財産ノ差押ヲ解除シタルトキハ其旨ヲ本人ニ通知スヘシ此場合ニ於テ市町村長又ハ第三者ニ保管セシメタルモノアルトキハ同時ニ其物件ノ引渡方ヲ保管者ニ通知スヘシ

第八十七條 國稅徵收法第十三條ニ依リ不動産若クハ船舶ヲ差押タル場合ニ於テハ同法施行規則第二十五條ノ手續ヲ爲シ同時ニ債權者ノ有無等ヲ調査スヘシ

第八十八條 國稅徵收法施行規則第三十三條ノ見積價格書ハ各縣ニアリテハ其縣長縣廳ニアリテハ知事ノ決裁ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第八十九條 差押財産ヲ賣却セントスル場合ニ於テ其價格ノ見積難キモノアルトキハ適當ナル鑑定人ヲ選ミ其評價ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十條 入札ノ方法ヲ以テ差押財産ヲ公賣スル場合ニ於テ國稅徵收法施行規則及本則ニ掲ケサル事項ハ明治三十四年三訓令第十七號及第百三號訓令會計細則ヲ準用スヘシ

競賣ノ方法ヲ以テ差押財産ヲ公賣スル場合ニ於テハ競賣人ヲ選ミ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第九十一條 競賣人ヲシテ差押財産ノ公賣ヲ取扱ハシムルトキハ所屬官吏々員若ハ職員ヲシテ立會監督セシムヘシ

第九十二條 各縣ニ於テ差押財産ヲ再度ノ公賣ニ付スルモ買受望人ナキカ又ハ其價格見積價格ニ達セサルトキハ左ノ要件ヲ具シ買上方ヲ稟申スヘシ

- 一 差押財産ノ名稱種類數量性質重要ナル事情並ニ所在ヲ明ニスル事項
- 二 三番札マテノ入札代價並ニ其入札人ノ住所氏名
- 三 第八十八條ノ見積價格

四 差押財産上ニ徵收金ノ納期限ヨリ一ヶ年以前ニ質權又ハ抵當權ノ設定アルトキハ其債權額及債權者ノ住所氏名

五 右ノ外必要ト認ムル事項

縣廳ニ於テ差押財産ヲ再度ノ公賣ニ付スルモ買受望人ナキカ又ハ其價格見積價格ニ達セザルトキハ内務部第五課ニ於テ前項ニ準シ必要ノ事項ヲ具シ決裁ヲ受ケ處理スヘシ

第九十三條 各麻ニ於テ第九十二條ノ稟申ニ對シ買上ノ許可ヲ得タルトキハ該代金ヲ請求シ其交付ヲ受ケタル後該物件ヲ主管ノ官吏々員ニ引渡スモノトス

第九十四條 各麻ニ於テ國稅徵收法施行規則第三十條第二項ニ係ル殘餘金アルトキハ其事由及保證金ニ對スル収支ノ計算ヲ示シタル報告書ヲ調製シ公賣終了後三日以内ニ縣廳ニ差出スヘシ

縣廳ニ於テ前項ノ報告書ヲ受ケタルトキハ内務部第五課ニ於テ之ヲ調査シ縣經濟へ收入ノ手續ヲナスモノトス

縣廳ニ於テ國稅徵收法施行規則第三十條第二項ニ係ル殘餘金アルトキハ第一項ノ報告ニ準シ收支ノ計算及其事由ヲ詳記シ決裁ヲ經テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十五條 差押財産ノ賣得金差押ヘタル通貨其他財産公賣ニ係ル保證金等ハ出納吏ヲシテ保管セシメ速ニ處理ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十六條 國稅徵收法第二十八條第二項ニ依リ滯納者ノ財産賣却代金ヨリ其負債金額ニ充ツルマテヲ質權者又ハ抵當權者ニ交付セントスル場合ニ異議ヲ申出ルモノアルトキハ其事由ヲ質權者又ハ抵當權者ニ通知シ其和解又ハ裁判確定ノ上之ヲ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其金額ハ供託ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十七條 滯納處分ニ依リ差押ヲ爲シタル金額ノ内滯納者ニ還附スヘキ剩餘アルモ其所在不分明等

ノ爲メ還附シ得サルモノアルトキ供託ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十八條 各麻ニ於テ國稅徵收法第三十一條第一項ニ該當スル場合ニ於テ縣ノ損失ニ歸シタル金額及處分費アルトキハ一ヶ月毎ニ取纏メ事由ヲ具シ明治三十四年三月訓令第十七號會計細則ニ定ムル所ノ收入報告書ト共ニ其缺損額ヲ報告スヘシ

前項報告書ニハ年度科目金額滯納者ノ住所氏名算出ノ基礎及處分ノ顛末ヲ記載スヘシ

縣廳直扱ニ係ルモノハ内務部第五課ニ於テ前二項ノ例ニ依リ其都度缺損額報告書ヲ製シ決裁ヲ經テ其整理ヲ爲スヘシ

第九十九條 他ヘ滯納處分ノ囑託ヲ爲サントスルトキハ其囑託書ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 滯納者ノ住所氏名

二 滯納ノ科目金額所屬年度及徵收期限

三 督促狀ノ手數料額

四 督促狀ノ送達又ハ公示ノ年月日

五 滯納處分表ニ記載ヲ要スル事項ノ回報方

六 右ノ外必要ト認ムル事項

第一百條 縣廳ニ於テ第八十四條ニ依リ各麻長ヨリ滯納處分ノ囑託書ヲ受ケタルトキハ内務部第五課ニ於テ決裁ヲ經テ速ニ滯納處分ヲ爲スヘキ地ノ廳府縣長官若クハ郡市長島司區長ニ移牒スルモノトス

第一百一條 縣廳ニ於テ他ヨリ滯納處分ノ囑託ヲ受ケタルトキハ内務部第五課ハ決裁ヲ經テ速ニ之ヲ郡市長ニ送達スルモノトス

第一百二條 他ヘ滯納處分ノ囑託ヲ爲シタル後其處分完了ノ通報ヲ得カル以前ニ於テ處分費及徵收金ノ完納ヲ申出タルモノアルトキハ受託者ニ處分進行ノ停止方ヲ通知シ同時ニ處分ニ要シタル費用ノ計

算ヲ求メ滞納者又ハ第三者ヲシテ處分費及徵收金ト共ニ之ヲ納付セシメ其費用ハ受託者へ辨償シ曩ノ囑託ヲ解クヘシ

第三百三條 他ヨリ滞納處分ノ囑託ヲ受ケ其處分完了シタルトキハ其徵收シタル金額ノ内ヨリ處分費及滞納金送付ニ要スル費用ヲ控除シ其殘額ヲ囑託者ニ送付スヘシ但本項ニヨリ控除シタル處分費及徵收金送付ニ要スル費用ニ對シテハ領收證書ヲ製シ同時ニ回送スルモノトス

前項處分完了前滞納者又ハ第三者ヨリ處分費及滞納金ノ完納ヲ申出タルモノアルトキハ一時其處分ヲ停止シ納人ヲシテ直ニ囑託者ニ之ヲ納付セシメ同時ニ其旨ヲ囑託者ニ通知スヘシ此場合ニ於テ處分費ヲ要シタルモノアルトキハ其償還ヲ求ムルモノトス

第三百四條 他ノ囑託ニ係ル處分ニシテ物件ノ買上ヲ要スル場合ニ於テハ囑託應ニ照會シ買上代金ノ内囑託應ニ於ケル處分費及滞納金ヲ控除シタル殘額ノ送付ヲ受クヘシ

第三百五條 他ノ滞納處分ノ囑託ヲ爲シタルモノニシテ處分費及徵收金送付ニ係ル費用ヲ控除シタル殘金ノ回付ヲ受ケタルトキハ所屬經費ヨリ該費用ヲ支出シ其不足額ヲ補填シタル後收納スルモノトス

第三百六條 各縣ニ於テ徵收金ヲ納期限内ニ完納セサルモノアリテ滞納處分ノ手續ヲ爲シタルモノハ總テ滞納額整理簿若クハ財産差押命令簿ヲ基礎トシ滞納處分報告表ヲ調製シ翌年度六月三十日迄ニ差出スヘシ

縣廳直報ニ係ルモノハ內務部第五課ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三百七條 第三百六條ノ滞納處分報告表ハ內務部第五課ニ於テ取纏メ其縣稅ニ係ルモノハ明治三十四年八月大藏省訓令第三十號ノ様式ニ依リ翌年度七月三十一日迄ニ調製シ決裁ヲ經テ大藏大臣ニ差出スヘシ

第五章 雜 則

第三百八條 本規定ニ掲クル帳簿其他ノ様式ニシテ一定ヲ要スルモノハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

附 則

第三百九條 此規程ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

第四百十條 明治二十八年四月訓令第四十六號縣稅外諸收入收納取扱順序全三十二年三月訓令第二十七號縣稅徵收事務取扱手續及全年十一月十一訓令第七十六號縣稅滞納處分取扱手續ハ此規程施行ノ日ヨリ廢止ス

第四百十一條 第六十八條及第六十九條ノ規定ハ明治三十四年度ノ收入ニ之ヲ適用ス

訓令第十九號 明治三十五年三月二十八日

- | | | |
|-------|-----|-------|
| 知事官房 | 內務部 | 警察部 |
| 郡市役所 | 警察署 | 縣立學校 |
| 縣立病院 | 驅役院 | 農事試驗場 |
| 農事講習所 | 博物館 | 測候所 |

明治三十五年二月訓令第十號ヲ左ノ通改正シ様式ヲ追加ス

明治三十五年三月訓令第十八號縣稅其他諸收入徵收事務取扱規程ニ關スル報告書類並諸帳簿等ノ様式別冊ノ通定ム但別冊ハ別ニ頒ツ

(別冊)

凡 例

- 一 諸様式中特ニ用紙ノ種類ヲ示サ、ルモノハ半紙判紙ヲ用ユルモノトス
- 一 諸様式中△印ヲ付シタルモノ及減額ニ係ルモノハ總テ赤字ヲ以テ掲記スルモノトス

樣式目次

- 第一號 徵稅原簿
- 第二號 徵稅額集計簿
- 第三號 過誤納額整理簿
- 第四號 徵稅額仕譯(集計)書
- 第五號 地租(戶數)現在報告書
- 第六號 建物個數現在報告書
- 第七號 徵稅額既未納報告書
- 第八號 縣稅徵稅額報告書
- 第九號 稅外諸收入調定原簿
- 第十號 授業料調定原簿
- 第十一號 席貸茶屋及娼妓現在報告書
- 第十二號 徵收額既未納報告書
- 第十三號 調定額報告書
- 第十四號 滯納額整理簿
- 第十五號 財產差押命令簿
- 第十六號 徵收額缺損報告書
- 第十七號 滯納處分報告表
- 第十七號 堤塘(道路)(並未敷)使用料徵收原簿
- 第十九號 市町村立小學校實業補習學校教員恩給基金徵收原簿

第一號樣式

自明治何年度
至明治何年度

縣稅徵稅原簿

- 一 本簿ハ每冊二科目以上ノ合冊シタルトキ各科目ノ見出シヲ付スルモノトス
- 二 本簿用紙ハ厚質ノ美濃紙ヲ用ユルモノトス
- 三 本簿中使用年限ヲ定メサルモノハ總テ五ケ年度繼續使用シ尙戸數割家屋稅及其他ノ計算表ヲ除ク外ハ可成半面ニ一名ノ割合ヲ以テ調製スルモノトス
- 四 納稅義務消滅シ又ハ轉居等ノ爲メ徵稅ヲ要セサルニ至リタルモノハ總テ事由欄内ニ其事由ヲ記入シ氏名ノ上ニ消印ヲ捺スヘシ
- 五 賦課ノ科目變更シタルモノハ事由欄内ニ其事由ヲ記入シ原簿ノ組換ヲ爲スヘシ
- 六 本簿ニ事項ヲ登記シタルトキハ必ス金員ノ下ニ取扱者ノ證印ヲ捺スヘシ備考ヲ付記シタルトキ亦全シ

(第一號ノ一)

年度別	賦課科目		徵稅額	課稅標準	事	由
	期前	期後				
三十五年	卸賣業		〇四〇〇	一〇〇〇〇		
三十六年						
三十七年						
三十八年						

業名及開業年月日
 本業名 兼業名 兼業年月日
 番號 下付年月日 携帶人氏名
 住所氏名

備考

- 一 本簿ハ登録免狀ヲ有スルモノ船鑑札規則ニ依リ鑑札ヲ受有スルモノ縣稅取締規則ニ依リ鑑札ヲ下付スルモノトナ問ハス總テ船舶ニ用ユルモノトス但船ノ種類毎ニ各別ニ調製スルモノトス
- 二 日本形船積石五十石未滿浮漁船小廻船ハ其種類中間數毎ニ口坐ヲ設クルモノトス但三間未滿ノモノハ三間ノ部ニ混記スルコトヲ得
- 三 住所氏名欄記載方第一號一ニ同シ
- 四 船體ニ修繕ヲ加ヘ噸石數等ニ異動ヲ生シタルトキハ朱線ヲ施シ之ヲ訂正シ其事由ハ事由欄ニ記入スルモノトス
- 五 水火盛難其他ノ事故アルトキ又ハ賣買讓與若クハ定繫場ヲ變更スルモノ等ハ其登記濟ノ年月日ヲモ事由欄ニ記入スルモノトス

(第一號四)

烙印番號及年月日		車之種類	町(村)名	事由		所有者	住所氏名
番	號			年	月		

備考

- 一 本簿ハ雜種稅中水車ニ用ユルモノトス
- 二 住所氏名欄記載方第一號一ニ同シ

(第一號六)

名	稱	漁業場所	許可年月日	住所	氏名	年度別		課稅標準	事由
						徵稅額	個所數		
							期後	期前	

備考

- 一 本簿ハ營業税法第三十六條ニ依ル附加税ニ用ユルモノトス
- 二 住所氏名欄及開業年月日記載方ハ第一號一ニ同シ
- 三 業名欄ハ營業税法ニ依リ國税ノ賦課ヲ受クル業名ヲ其本業ト兼業トニ區分記載スルモノトス
- 四 課税標準欄ハ營業税法ニ依リ納税スル國税額ヲ掲記スルモノトス

(第一號十三)

年度別	徵稅額		戶番	大字名 地番	課稅標準		事 由
	期後	期前			一等坪數	二等坪數	

住所 法人名

備考

- 一 本簿ハ雜種稅中銃獵仔馬ノ類ニ用ユルモノトス
- 二 住所氏名欄記載方第一號ニ同シ
- 三 本簿ハ毎年度調製スルモノトス

(第一號十五) 甲

住所
所有者氏名

年度別	徵稅額				數類第一 個	數類第二 個	數類第三 個	數類第四 個	合計 個數	累計 個數	事由
	前 期	後 期	加 追	加 追							

明治何年度

縣稅徵稅額集計簿

一本簿ニ事項ヲ登記シタルトキハ必ス金員ノ下ニ取扱者及調査者ノ證印ヲ捺スルモノトス

(第四號様式) 甲

何税徵稅額仕譯(更正仕譯)(集計)書

町村名	地租額		徵稅額	既徵稅額	差引徵稅額	備	考
	(戸數)	(個數)					
計							

右何年度前(後)半期(追加)(何ヶ月)分徵稅額ハ何年何月何日ヲ以テ納付ノ期トス
但地租額壹圓ニ付(戸數一戸ニ付)(個數一個ニ付)何程ノ半(全)額

備考

- 一 本書式ハ地租割戸數割家屋税ノ徵稅ニ用ユルモノトス
- 二 既徵稅額ノ欄ニハ縣稅徵收法施行細則第四條ニ依リ徵收期前ニ徵稅濟ノ金額ヲ掲載スルモノトス

(第四號様式) 乙

何税徵稅額仕譯(更正仕譯)(集計)書

町村名	賦課ノ科目	課稅標準	賦課ノ員數	徵稅額	既徵稅額	差引徵稅額	備	考

右何年度前(後)半期分徵稅額ハ何年何月何日ヲ以テ納付ノ期トス

備考

- 一 本書式ハ營業稅雜種稅ノ定期徵收ニ係ル年稅ニ用ユルモノトス
- 二 賦課ノ科目欄ニハ縣稅賦課規則ニ掲クル科目若ハ物件等ノ種類ニ依リ稅額ノ異ナルモノヲ各區別シテ記載スルモノトス
- 三 課稅標準ノ欄ニハ賣上金高收入金高等級等總テ徵稅額算出ノ基ク所ノ要點ヲ記載スルモノトス
- 四 賦課ノ員數ノ欄ニハ納稅義務者又ハ賦課物件ノ員數ヲ記載スルモノトス
- 五 賦課科目中二件以上ニ涉ルモノハ各計ヲ付シ又町村毎ニ町村計ヲ朱記スルモノトス

- 六 徵稅額ノ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其差増減額及事由等ヲ記載スルモノトス
- 七 既徵稅額ノ欄ニハ縣稅徵收法施行細則第四條ニ依リ徵收期前ニ徵收濟ノ金額ヲ掲載スルモノトス

(第四號様式) 丙

何稅徵稅額仕譯(更正仕譯)(集計)書

賦課ノ科目	課稅標準	課稅ノ月數 (又ハ日數)	賦課ノ員數	徵稅額	納	人	備	考
計								

右何年度何月前(後)半期(追加)(何ヶ月)(何月中何日)分徵稅額ハ何年何月何日ヲ以テ徵收(納付)ノ期トス

備考

- 一 本書式ハ營業稅雜種稅ノ日稅月稅及年稅ノ隨時徵收ニ屬スルモノニ用ユルモノトス
- 二 賦課科目賦課ノ員數ノ欄及徵稅額異動等ノ記載方ハ第四號乙ニ同シ
- 三 課稅標準ノ欄ニハ徵稅額算出ノ基ク所ノ要點(假令ハ賣上金高收入金高及等級又ハ演劇興行ノ如キハ木戶錢場代ノ一人若ハ一枚分ノ價格漁業場ハ收獲金高ノ類)ヲ記載スルモノトス
- 四 賦課科目中二件以上ニ涉ルモノハ各計ヲ朱記スルモノトス

右報告候也

年 月 日

知 事 宛

郡長 氏 名

備 考

一 町村會ノ議決ニ依リ戸數割ヲ免除シタルモノアルトキハ事由欄ニ町村會議決ノ免除戸數割何
戸ト掲記スルモノトス

第六號様式

何月何日現在建物個數報告

一 第一種何 個

但此建坪何坪何合

一 第二種何 個

但全上

合計何 個

△外

△第何種何 個

△但此建坪何 坪

縣稅ノ賦課ヲ受クヘキ分

△何々ニテ課說外ニ屬スル分

備 考

前賦課期日何月何日ノ現在何程ニ比シ何程ヲ増(減)ス其理由(増減ノ事由ヲ掲記)ハ何々ニ由ル
右 報 告 候 也

年 月 日

郡長 氏 名

知 事 宛

(第七號様式)

第何號

何年度縣稅徵稅額既未納報告書

科目	徵收區分	徵稅額	徵稅濟額	不納缺損額	徵稅未濟額		
					督促狀發付前ノ者	督促狀發付ノ者	差押處分申ノ者
地租割	前(後)半期分						
戸數割	前(後)半期分						
營業稅附加稅	前(後)半期分						
營業稅年稅	前(後)半期分						
營業稅月稅	何月分						
雜種稅年稅	前(後)半期分						
雜種稅月稅	何月分						
雜種稅日稅	何月中分						

備考

右報告候也

年月日

郡長氏

名

知事宛

備考

- 一 科目ハ各款ニ分テ尙一欸中年稅月稅及日稅ヲ區別記載スルモノトス
- 二 徵稅未濟額欄ハ其區分ニ依リ一町村毎ニ其金額及人員ヲ備考ニ記載スヘシ但徵收延期等ニ係ルモノアルトキハ其期限及金額ヲ付記シ尙分納ヲ爲シタルモノアルトキハ其金額ヲ外書スルモノトス
- 三 徵稅額欄ハ第二回目ノ報告ヨリ前ノ徵稅未濟額ヲ順次掲記スルモノトス
- 四 本報告ハ種類ノ如何ヲ問ハス一々年度間報告ノ順序ニ依リ追次順番號ヲ付スルモノトス

第 月 日 號		第 月 日 號		第 月 日 號		告知書發付月日	告知書番號	開業及轉居等ノ事由	開業年月日	徵收期日	業名	籍原	現住姓名
							摘要		明治 年 月 日	每 翌 月 日	席貸茶屋(娼妓)	何府縣何郡市區何町村何大字何番戶(地)	何郡市何町何番戶(何某方寄留)
等	等	等	級	等	等	等	調定額	收入濟					何 某
分月何	分月五	分月四	日	日	日	日	通知月	備					
月 日	月 日	月 日											

考 備	合 計

備考

- 一 本簿ハ賦金調定ニ用ユルモノトス但臺帳ト兼用スルモ妨ナシ
- 二 本簿ハ毎年度調製スルモノトス
- 三 摘要欄ニハ開廢業又ハ入退院其他徵收ニ關スル必要ノ事項ヲ詳記スルモノトス
- 四 等級ハ席貸茶屋娼妓賦金徵收規則ニ依リ取締及營業者ニ於テ協議決定シテ届出タル組合内ノ等級ヲ記入スルモノトス

第十號様式 甲 用紙書院紙

調定額	料金額	告知書番號	事由	納人	何	某					
	金何程〇 主任印										
納期區分	四月	五月	六月	七月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
料金額	何月何日〇 主任印	不納〇 主任印									
通知月日											
納期區分	四月	五月	六月	七月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
料金額											
通知月日											
備考	一 本簿ハ毎年度調製シ授業料ノ調定ニ用ユルモノトス										

- 二 納期限ヲ過キ料金ヲ完納セサル爲メ督促狀ヲ發シタルモノハ料金額收濟通知月日欄ニ不納ト記シ滯納額整理簿ニ轉記スヘシ
- 三 本簿ハ納人ヲ學年別級別若クハイロハ別等ニ區分シ各見出シヲ付シ可成取扱ニ便ナラシムヘシ
- 四 本簿ノ首メニ左ノ調定區分表ヲ付シ整理ノ便ニ供スヘシ

△印ハ朱記

解長	調査	主任	調定月日	納期月	告知書	納付期限	調定人員	調定額	徴收済額	不納額	徴收未済額	滯納人員
			四月三日	四月	四月四日	四月十日	百人	100000	80000	50000	130000	五人
			五月何日	五月								
			△合計									

第十二號様式

第何 號

何年度縣稅外收入徵收額既未納報告書

科目	納期限	徵收額	徵收済額	不納額		徵收		未済	
				損額	額	納期限内ノモ	督促狀發付前ノモ	督促狀發付後ノモ	申差押處分ノモ
何々(款)	何月何日	100000	90000	20000	0	0	0	0	0
何々(目)	何月何日	5000	0	0	0	0	0	5000	0
何々(款)	、								
何々(目)	、								

備考

何々

右報告候也

年 月 日

麻長氏 名

備考

- 一 徵收未済額欄ハ其各欄ノ區分ニ依リ金額人員ヲ備考ニ記載スヘシ但徵收延期等ニ係ルモノアルトキハ尙其期限及金額ヲ付記スルモノトス
- 二 徵收額欄ニハ第二回ノ報告ヨリ前回ノ徵收未済額及其月ノ調定額ヲ加算シ順次記載スルモノトス
- 三 本報告ハ一ヶ年間報告ノ順序ニ依リ追次順番號ヲ付スルモノトス

第十三號様式 用紙書院紙

△印ハ朱記

明治何年度縣稅外諸收入調定額報告書

科目	調定額	内譯金額	收納期間	事由	徵收済額		不納額		徵收未済額		過誤納額
					人員金額	人員金額	人員金額	人員金額	人員金額	人員金額	
財產收入(款)	5000	円			1500	円	0100	円	3000	円	0400
不動産收入(項)	5000				1500		0100		3000		0400
地所貸(目)	3000			某地何ヶ所貸下ノ分	1500		0100		1000		0400
家屋貸(目)	2000			某地何ヶ所全上ノ分	0500		0100		1000		0400
雜收入(款)	2000			某地何家屋貸下ノ分	0500		0100		1000		0400
懲罰金(項)	2000										
沒收金(項)	2000										
懲罰金(目)	2000										
				何職俸給何何何分ノ若干何人分							
				何々何程何人分							

末		顛			押	
入編へ庫國	月 日 金 額	納 完			區別 月 日	
		沒收金	公賣前	公告前		
入編へ入歳縣	月 日 金 額	金 付 還			區別 金 額	代
		何々	債主	滞納者		
考 備					代	

備考

- 一 本簿ニ事項ヲ登記シタルトキハ必ス其取扱者ノ證印ヲ捺スヘシ
- 二 差押命令後其執行以前ニ納付シタルモノアル場合ノ如キハ渾テ備考欄ニ明記スヘシ

第十六號様式

何年度何月中縣稅(稅外諸收入)徵收額缺損報告書

科 目	賦課科目	課稅ノ標準 (又ハ算出ノ基礎)	納期限	事 由	滞納者ノ住所氏名
何々(目)					

右報告候也

年 月 日

麻 應 氏

名

知 事 宛

備考

- 一 本報告ハ縣稅ト縣稅外收入トハ各別ニ調製スルモノトス
- 二 一款中二目以上ニ涉ルトキハ小計毎欸ニ合計ヲ付スヘシ
- 三 本報告書ハ紙首三行ノ空野ヲ存スヘシ

第十八號様式

用紙書院紙

事項	指令	使用料金	使用目的	使用別	堤塘位置	河川名
		但一ヶ年			郡 大字 番 字	
			自明治 至明治	使用 期間	郡 大字 番 字	可被 認者
			年 年 月 月	備考		

第十九號様式

用紙書院紙

備考	俸給額	年功加俸額	特別加俸額	給料額計	納金額	何學校職 俸給等級
						何 某

備考

- 一 本簿ハ一町村毎ニ學校別トシ各其見出ヲ付スヘシ
- 一 本簿ハ數年繼續使用スルモノトス
- 一 俵給其他ニ異動アルトキハ關係ノ欄ヲ訂正シ其事由ヲ備考ニ附記スヘシ

第一四五號 (訓令) 明治三十五年四月二十四日

内務部 警察部

電話架設工手工夫日額旅費支給規程左ノ通り定ム

電話架設工手工夫日額旅費支給規程

- 第一條 新ニ架設スル電話工事ニ從事スル工手工夫ノ縣内旅行ハ別表ニ定ムル日額ヲ以テ支給ス
- 第二條 本規程ニ定ムルモノ、外ハ明治三十二年^三訓令第六號縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則ニ依ル

(別表)

區分	日額旅費
工手	金五拾錢
工夫	金四拾錢

訓令第三十二號

明治三十五年五月七日

知事官房 内務部 警察部
 郡市役所 警察署 警察分署
 縣立學校 縣立病院 驅徴院
 農事試驗場 水産試驗場 農事講習所
 博物館 測候所 縣金庫

明治三十四年^三訓令第十七號會計細則第二條同年^三第一〇三號訓令本廳會計細則第三條ニ依リ歲入歲出外現金及證券ノ整理科目左ノ通定ム但本科目ニ編入シ難キモノアルトキハ相當科目ヲ設ケ即時其旨報告スヘシ

科	目	編	入	備	考
契札	保約	契約ニ依ル各種保險料			
保險	險納	物件賣却等ニ關スル豫納金			
豫權	納險	歲入豫算科目ナキ爲メ一時保管スヘキモノ			
財權	納險	縣稅其他諸收入ノ滯納處分上收入スルモノ			
差財	得現	同上差押ヲ爲シタル通貨ヲ收入スルモノ			
產賣	得現				
押賣	得現				
差財	得現				

國庫納金
縣納金
一時寄託金

郡判任官及學校職員ノ規定上國庫ニ納金スルモノ
縣吏員及吏員職員ノ規定上縣ニ納金スルモノ
法律命令若クハ從來ノ慣例ニヨリ縣ニ於テ保管ノ義務ヲ有スルモノ

第一八一號 (訓令)

明治三十五年六月七日

內務部

縣稅檢査員旅費支給規則左ノ通定ム

縣稅檢査員旅費支給規則

- 第一條 縣稅檢査員職務ノ爲巡回スルトキハ旅費トシテ一日ニ付金七拾錢ヲ支給ス
- 第二條 縣廳ト檢査ヲ命セラレシ地ヘ往復スル旅費ハ縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則ニ依リ之ヲ支給ス
- 第三條 第二條ニ依リ旅費ヲ支給スル間ハ第一條ニ依リ支給スル日額旅費ヲ支給セス
- 第四條 第二條ニ依リ旅費ヲ支給スル場合ニ於ケル行程ノ計算ハ往路ニ在テハ初メテ檢査ニ着手セシ町村迄歸路ニ在テハ最終ニ檢査ヲ行ヒタル町村ヨリ縣廳迄ノ行程ニ依ル
- 第五條 上司ノ隨行及其他ノ事故ニ依リ日額旅費ヲ以テ支辨シ難キトキハ內務部長ノ許可ヲ得テ縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則ニ依リ支給スルコトアルヘシ

第一七四號 (訓令)

明治三十五年六月十二日

內務部 警察部 警察署
同分署

水上警察署船舶職員等其管轄内ノ出張旅費支給方左ノ通り定ム
水上警察署船舶職員及水夫、火夫、舵手其管轄内ノ出張ニシテ特ニ宿泊ヲ要シタルトキハ別表ノ食卓料ヲ給ス

(別表)

區分	食卓料	一日ニ付
船長	金貳拾五錢	
機關長	金貳拾五錢	
水夫	金拾錢	
火夫	金拾錢	
舵手	金拾錢	

第二四〇號 (訓令)

明治三十五年九月六日

內務部

蠶種檢査所事務員ニ出張ヲ命シタルトキ支給スヘキ旅行手當ハ明治三十四年本縣訓令第一三六號蠶種

検査員旅費支給方法第二條別表記載ノ金額ニ依ル

訓令第四十六號 明治三十五年九月十日

内務部 縣金庫

明治二十七年四月 第六號訓令縣金庫検査規程左ノ通改正ス

愛知縣金庫検査規程

第一條 縣金庫ノ検査ハ本金庫ハ毎年九月各支金庫ハ毎年一回検査員ヲシテ帳簿金櫃ノ検査ヲ行ハシム

縣金庫ノ事務ヲ取扱フ銀行若クハ其代理店ニ變更アリタルトキ其他必要ト認ムルトキハ臨時検査ヲ行フコトアルヘシ

第二條 縣金庫ノ事務ヲ取扱フ銀行ノ代理店變更ノ認可ヲ得タルトキハ認可ノ日ヨリ三日以内ニ事務引繼ノ日時ヲ定メ速ニ縣金庫出納役ヨリ届出ヘシ

第三條 縣金庫ノ検査員ニハ左ノ検査章ヲ携帯セシム

三寸三分

官(職)氏名

愛知縣金庫検査ノ章



川中

第四條 検査員縣金庫ノ検査ヲ爲ストキハ検査章ヲ縣金庫出納役若クハ其代理人ニ示スヘシ

第五條 検査員縣金庫ノ検査ヲ爲ストキハ縣金庫出納役若クハ其代理人ヨリ出納計算書ヲ徴シ之ヲ帳簿及現金其他證憑書類等ニ對查スヘシ

第六條 検査ヲ了シタルトキハ檢定書甲乙二通ヲ作り縣金庫出納役又ハ其代理人ヲシテ之ニ署名捺印セシメ甲號ハ其署名人ニ交付スヘシ

第七條 検査員縣金庫ノ検査ヲ了シタルトキハ其顛末ヲ詳記シ第五條ノ計算書類及第六條ノ檢定書乙號ヲ添ヘ歸廳後五日以内ニ復命スヘシ

告示第二百七十四號 明治三十五年十月一日

明治三十四年七月 法律第三十八號巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依ル巡査退隱料及遺族扶助料等ノ請求書式左ノ通り定ム

退隱料(一時金)請求書

某 儀

明治何年何月何日愛知縣巡査拜命同何年何月何日退職滿何年勤績候ニ付テハ巡査看守退隱料及遺族扶助料法第何條第何項ニ依リ相當退隱料(一時金)支給相成度別紙關係書類相添ヘ此段請求候也

何府縣何郡市町村何番戶(現住所)
元何警察署勤務(甲)(乙)何級俸巡査

何 某 印

愛知縣知事氏名宛

年 月 日

(用紙對半紙)

退隱料増額請求書

明治何年何月何日愛知縣巡查拜命同何年何月何日退職巡查看守退隱料及遺族扶助料法第何條第何項ニ該當致候處養キニ本縣(又ハ何府縣)ヨリ退隱料(又ハ給助料)證書下付相成居候ニ付相當退隱料増額相成度別紙關係書類相添へ此段請求候也

年 月 日

愛知縣知事氏名宛

遺族扶助料請求書

明治何年何月何日愛知縣巡查拜命滿何年勤續(退隱料金何圓支給相成居)候處明治何年何月何日(職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ在職中)(職務ノ爲メ疾病ニ罹リ在職中)死亡候ニ付テハ巡查看守退隱料及遺族扶助料法第何條第何項ニ依リ相當扶助料支給相成度此段請求候也

故何 某

年 月 日

何府縣何郡市町村何番戶(現住所)
元何警察署勤務(甲)(乙)何級俸巡查何某寡婦(子)(父母)
何 某 印
(法定代理人アルト)
キハ連署ヲ要ス

愛知縣知事氏名宛

遺族扶助料轉給請求書

右ハ從來扶助料ヲ受ケ居候處今般死亡(其他權利ノ消滅若クハ支給停止ノ事實)候ニ付自今私へ轉給相成度別紙關係書類相添へ此段請求候也

故愛知縣巡查何某寡婦(其他續柄)

何 某

年 月 日

愛知縣知事氏名宛

一時扶助料請求書

明治何年何月何日愛知縣巡查拜命滿何年勤續(退隱料金何圓受ケ居)(職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ在職中)(職務ノ爲メ疾病ニ罹リ在職中)死亡ノ處私儀(二十歳未滿)(篤疾)(癡疾)ニシテ自活シ能ハサルモノニ有之候間相當ノ一時扶助料支給相成度別紙關係書類相添へ此段請求候也

故何 某

(法定代理人アルト)
キハ連署ヲ要ス

年 月 日

愛知縣知事氏名宛

何府縣何郡市町村何番戶(現住所)
元何警察署勤務(甲)(乙)何級俸巡査何某(兄弟)(姉妹)

何 某 印

(法定代理人アルト
キハ連署ヲ要ス)

請 求 書 (前ニ四行ノ空罫ヲ存シ記載ノコト)

巡査退隱料(遺族扶助料)(給助料)年額金何圓

一金何 圓

請 求 額

但明治何年何月ヨリ何月ニ至ル三ヶ月分(給助料請求ニ付テハ六ヶ月分)(死亡又ハ權利消滅若クハ
支給停止ノ時ハ其事由年月日ヲモ記シ請求金額ノ算出ヲ明ニスヘシ)
右御渡相成度候也

何府縣何郡市町村何番戶

元愛知縣何警察署勤務巡査 何 某 印

又ハ

元(故)愛知縣何警察署勤務巡査何某寡婦(其他續柄)

年 月 日

何 某 印

愛知縣知事氏名宛

右ハ部内現住ノ者ニシテ巡査看字退隱料及遺族扶助料法第何條ニ該當セサルモノニ付キ退隱料證書
(又ハ扶助料證書)ヲ檢閲シ與書證明候也

年 月 日

何市町村長 何

某 印

(備考)

- 一 巡査看字退隱料及遺族扶助料法中、退隱料ニ在テハ第十一條第十四條扶助料ニ在テハ第十二條第
十五條ニ該當セサル證明ヲ要ス
- 二 年金受領者死亡又ハ權利ノ消滅若クハ停止ノ時ノ請求與書ハ、與書式右ハノ下へ(生前)(權利ノ
消滅前)(權利ノ停止前)ノ文字記載ヲ要ス
- 三 死亡ノ場合ニ於テハ其死亡ノ年月日ヲ、退隱料證書(又ハ扶助料證書)ヲ檢閲スル能ハサル場合ニ
於テハ其事由追記ヲ要ス

第三二二號 (訓令) 明治三十五年十二月十六日

内 務 部

明治三十三年訓令第八號第四條ニ依リ土木營繕工事等ニ從事スル縣吏員旅費支給方法左ノ通り定ム

土木營繕工事等ニ從事スル縣吏員旅費支給方法

第一條 工事、測量、土地及之ニ屬スル物件ノ收用、使用砂防指定地ノ作業其他堤防ノ使用、道路ノ
保護、河川ノ取締又ハ工事若クハ測量用ノ物件買收等ノ爲メ縣内ヲ旅行スルトキハ第一號表ニ定ム
ル日額旅費ヲ支給ス

第二條 第一條ニ掲クル用務ノ爲メ事務所出張所等ヲ設置セル場合若クハ常時一定ノ場所ニ出張シ又ハ出張三十日以上ニ渉ルモノハ第二號表ニ定ムル日額旅費ヲ支給ス

第三條 陸路六里瀛車十哩ニ滿タサル旅行ニハ日額旅費ヲ支給セス但事務ノ都合ニ依リ宿泊シタルトキハ其宿泊數ニ應シ日額旅費ヲ支給ス

一里以上ニ渉ル旅行ニシテ日額旅費ヲ支給セサル場合ハ縣經濟支辨ニ屬スル旅費規則第一條別表二級ノ車馬賃瀛車賃ヲ支給ス

第四條 工事又ハ測量等ノ爲メ常ニ名古屋市内ニ出張ヲ命シタルトキハ日額旅費金拾錢ヲ支給ス

第五條 受持區域内ノ用務ニ付區域外ニ出張ヲ命シタルトキハ其區域外ニ係ル往復里程ヲ通算シ日額旅費ノ外縣經濟支辨ニ屬スル旅費支給規則第一條別表二級ノ瀛車賃車馬賃ヲ支給ス

受持區域内ノ用務ニ付其ノ受持區ニ出張ヲ命シタルトキ亦同シ

第六條 受持區域外ノ用務ニ付旅行ヲ命シタルトキハ出發地及最終ノ用務地ヨリ縣廳事務所、出張所又ハ歸着地迄ノ里程ヲ通算シ日額旅費ノ外縣經濟支辨ニ屬スル旅費支給規則第一條別表二級ノ車馬賃瀛車賃ヲ支給ス

第七條 縣高等官ニ隨行若クハ同行シ又ハ他管廳ノ官吏吏員ト同行シ又ハ急行出張ヲ命シタル場合ニ於テ日額旅費等ヲ以テ支辨シ難キトキハ特ニ縣經濟支辨ニ屬スル旅費支給規則第一條別表ノ二級旅費ヲ支給スルコトアルヘシ

但課長ト同行ノ場合亦同シ

第八條 第一條ニ掲クル用務ノ爲メ常時專ラ其事業ニ直接從事セサル吏員ニ臨時出張ヲ命シタルトキハ縣經濟支辨ニ屬スル旅費支給規則第一條別表ノ二級旅費ヲ支給ス

第九條 此規則ニ定ムルモノ、外ハ總テ縣經濟支辨ニ屬スル旅費支給規則ノ規定ヲ適用ス

第十條 本則ハ熱田灣築港工事ニ從事スル縣吏員ニ適用セス

附 則

第十一條 本則ハ明治三十六年一月一日ヨリ施行ス

第一號表

等	級	日	當
一等	主幹土木技手	壹	圓
二等	土木技手	八	拾錢
三等	土木工手	六	拾錢

第二號表

等	級	日	當
一等	主幹土木技手	八	拾錢
二等	土木技手	五	拾錢
三等	土木工手	四	拾錢

